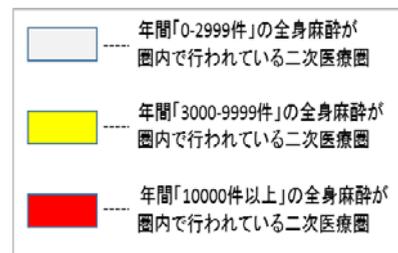
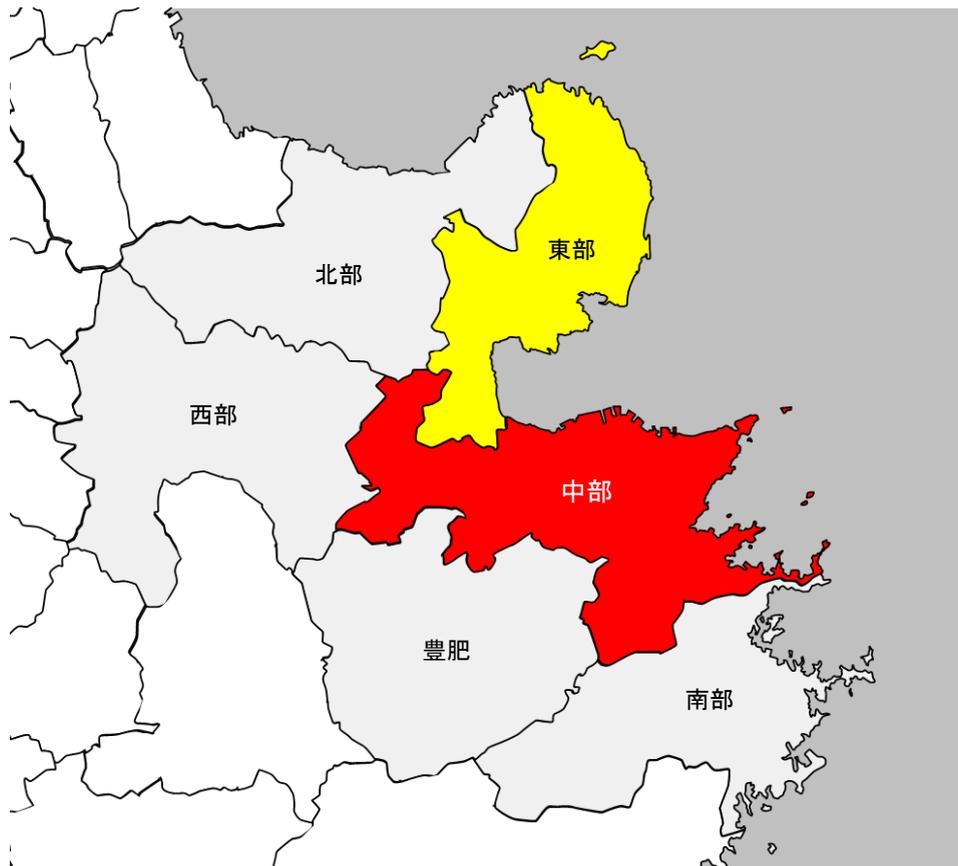


# 44. 大分県

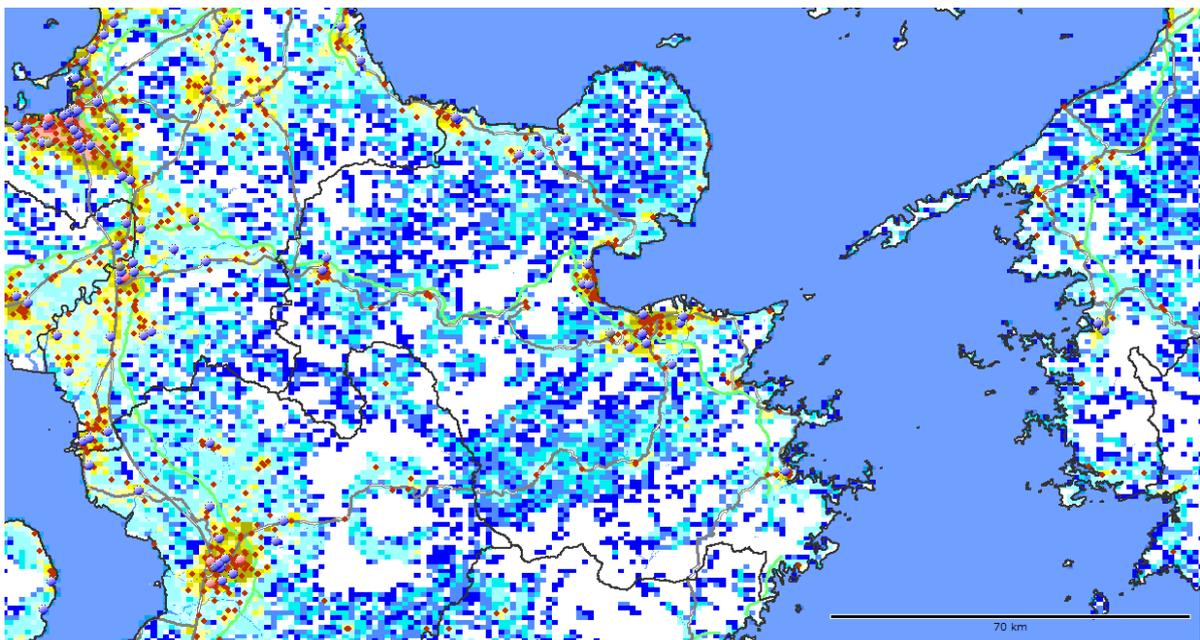


目次

大分県	44	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	44	-	8
1. 東部医療圏	44	-	20
2. 中部医療圏	44	-	25
3. 南部医療圏	44	-	30
4. 豊肥医療圏	44	-	35
5. 西部医療圏	44	-	40
6. 北部医療圏	44	-	45

# 44. 大分県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (大分県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 大分県は、総人口約1,166千人(2015年)、面積6,341km<sup>2</sup>、人口密度は184人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 大分県の総人口は2025年に1,089千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に947千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の184千人が、2025年にかけて225千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には224千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 大分県の一人当たり医療費(国保)は428千円(偏差値66)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 大分県の一人当たり急性期医療密度指数は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は0.97で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が53(病院医師数53、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値67と非常に多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 大分県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16,577人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が10,780床(偏差値48)、高齢者住宅等が5,797床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14,454人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム44、軽費ホーム48、グループホーム47、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,693人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

大分県の総人口は、2005年1,209,571人が、2015年に1,166,338人と4%減少し、2025年の人口が1,089,084人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

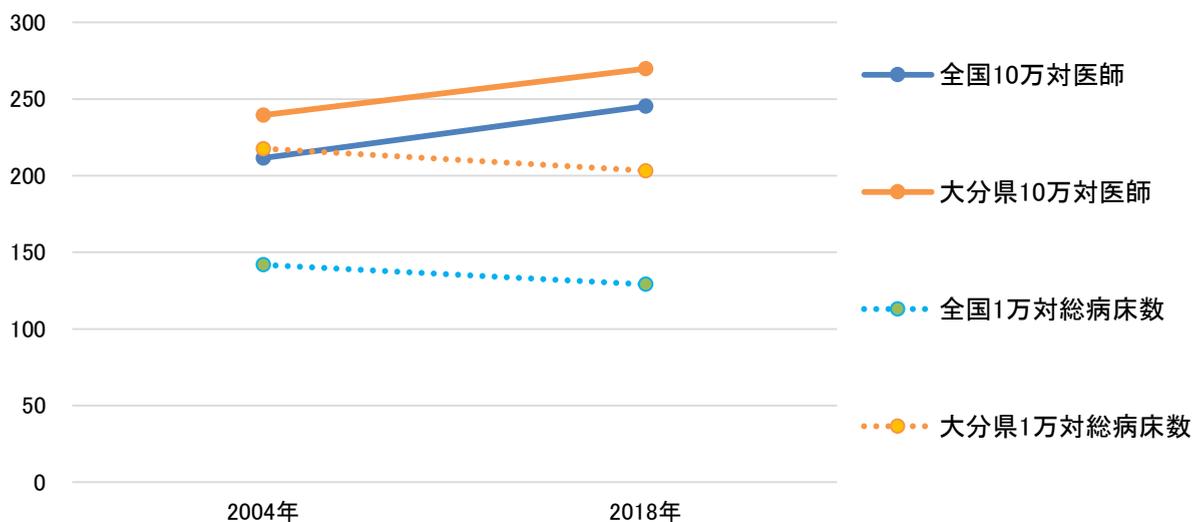
2004年の病院数が165(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2018年に157(人口10万人当たり13.5病院(全国平均6.6)偏差値67)となり、14年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が971(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2018年に955(人口10万人当たり82診療所(全国平均80)偏差値51)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が26,328床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2018年に23,704床(人口1万人当たり203(全国平均129)偏差値64)と、2,624床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

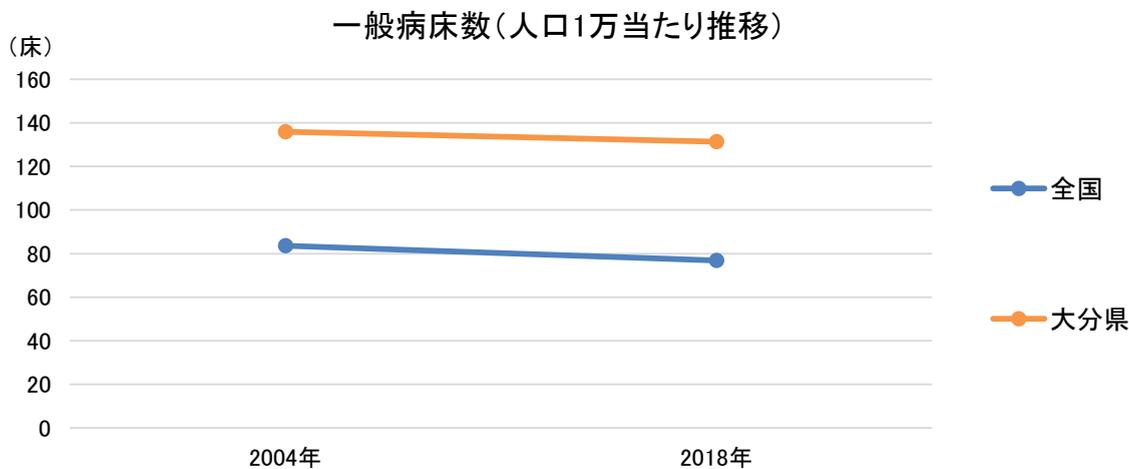
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,898人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2018年に3,148人(人口10万人当たり270人(全国平均245人)偏差値53)と、250人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



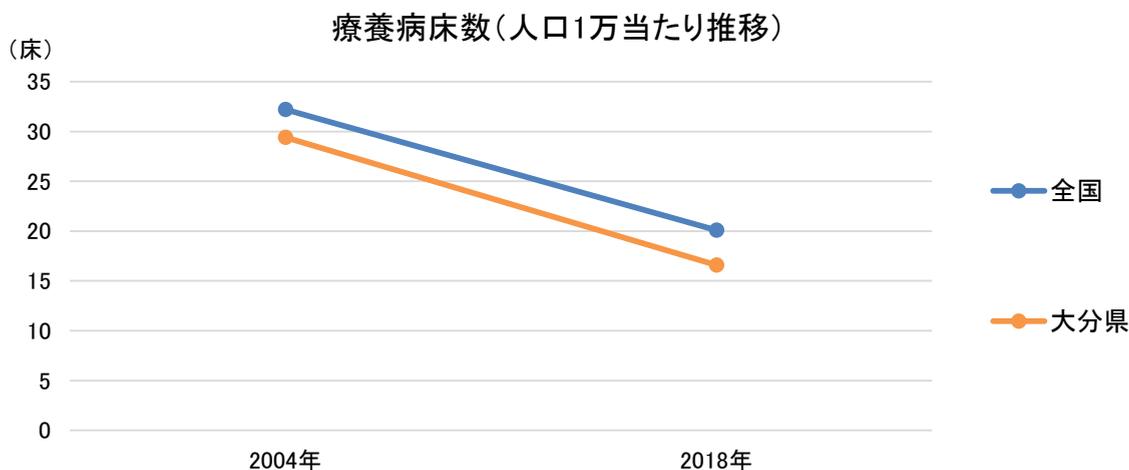
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が16,436床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2018年に15,324床(人口1万人当たり131(全国平均77)偏差値71)と、1,112床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



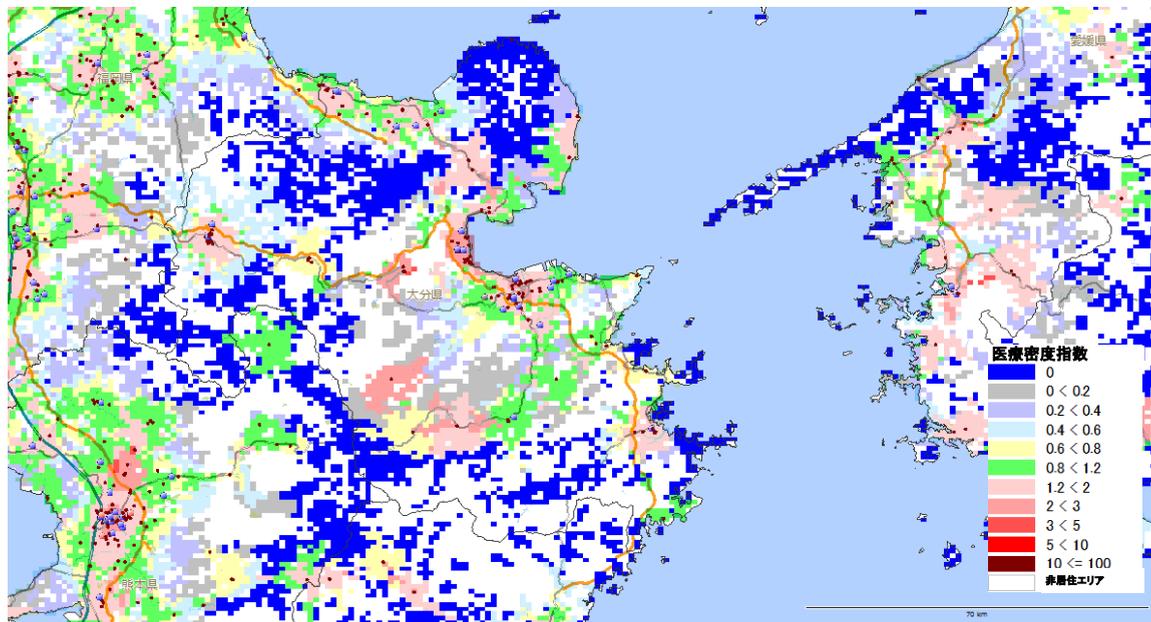
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,224床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2018年に3,046床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、1,178床の減少、率にして28%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



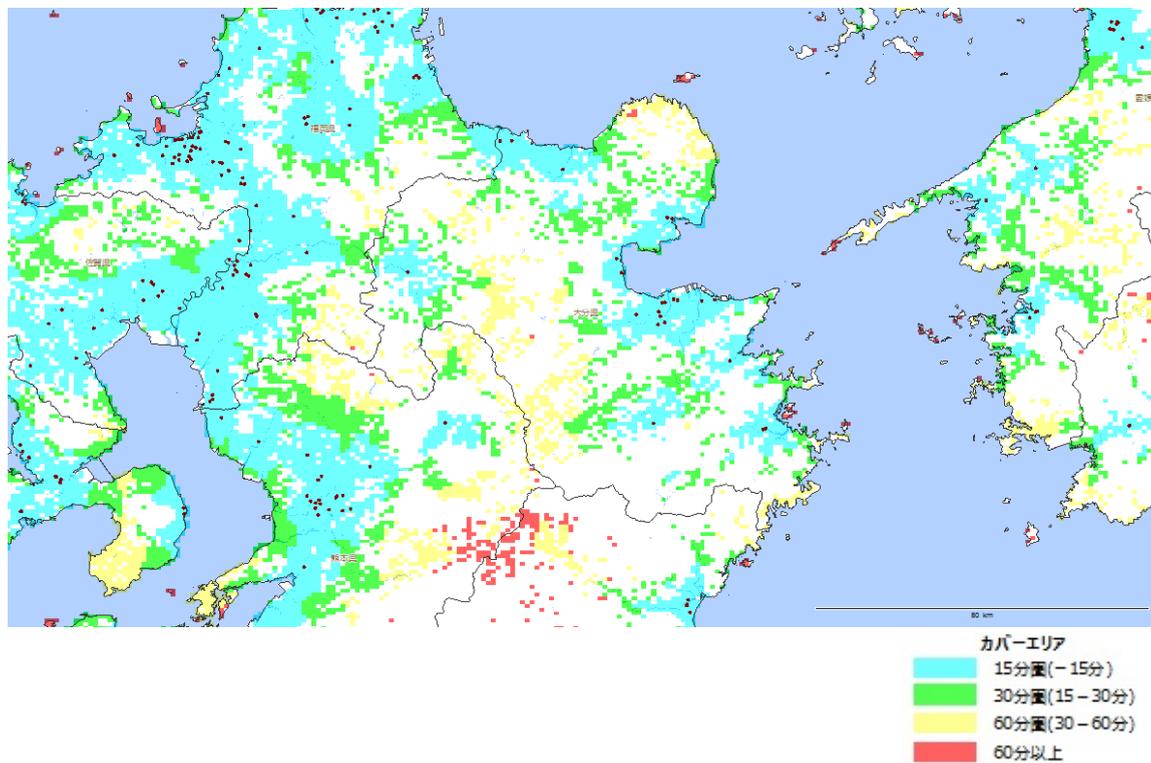
## (大分県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
大分県	1,166	33位	6,341	22位	183.9		30%	1,089	947	184	225	224	-7%	-13%	22%	0%
東部	211	18%	804	13%	262.5	地方都市型	33%	192	161	37	43	40	-9%	-16%	16%	-7%
中部	569	49%	1,192	19%	477.3	地方都市型	27%	556	511	72	102	111	-2%	-8%	42%	9%
南部	72	6%	903	14%	80.0	過疎地域型	37%	62	47	14	16	14	-14%	-24%	14%	-13%
豊肥	59	5%	1,081	17%	54.5	過疎地域型	42%	49	37	15	15	13	-17%	-24%	0%	-13%
西部	92	8%	1,224	19%	75.2	過疎地域型	34%	79	59	17	18	17	-14%	-25%	6%	-6%
北部	163	14%	1,137	18%	143.4	過疎地域型	32%	152	132	28	31	29	-7%	-13%	11%	-6%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資\_図表 44-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
大分県	1.24	0.97	14,489	18,049	-24.6%
東部	1.80	0.59	3,439	3,417	0.6%
中部	1.28	1.12	5,312	8,067	-51.9%
南部	1.05	0.97	1,109	1,342	-21.0%
豊肥	0.87	1.13	1,223	1,242	-1.5%
西部	0.76	1.28	1,222	1,527	-25.0%
北部	0.86	1.27	2,184	2,453	-12.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) )  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 44-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
大分県	428	66	1.151	196	69	1.355	210	60	1.044	267	54
東部	421	65	1.161	201	70	1.421	199	54	1.015	266	53
中部	430	67	1.155	190	67	1.312	218	65	1.079	263	53
南部	412	63	1.077	183	64	1.224	207	59	1.002	251	49
豊肥	468	76	1.194	223	77	1.453	225	69	1.059	317	68
西部	423	65	1.138	199	70	1.375	202	56	1.009	275	56
北部	427	66	1.119	202	70	1.359	202	56	0.981	259	51
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 44-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
大分県	1,035	59	1.111	585	62	1.234	424	49	1.004
東部	1,069	62	1.146	629	66	1.320	412	46	0.975
中部	1,049	60	1.139	569	60	1.221	451	56	1.072
南部	980	54	1.050	571	61	1.200	386	39	0.912
豊肥	1,043	59	1.108	573	61	1.170	450	56	1.074
西部	1,013	57	1.089	611	65	1.279	379	37	0.904
北部	992	55	1.065	567	60	1.191	402	43	0.951
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 44-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
大分県	157	1.9%	13.5	67	955	0.9%	82	51
東部	36	23%	17.1	77	185	19%	88	54
中部	62	39%	10.9	61	459	48%	81	50
南部	8	5%	11.1	61	58	6%	80	50
豊肥	7	4%	11.9	63	55	6%	93	57
西部	20	13%	21.7	88	70	7%	76	48
北部	24	15%	14.7	71	128	13%	78	49
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 44-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
大分県	955	0.9%	82	51	717	0.8%	61	43	238	3.4%	20.4	76
東部	185	19%	88	54	134	19%	64	44	51	21%	24.2	82
中部	459	48%	81	50	349	49%	61	43	110	46%	19.3	74
南部	58	6%	80	50	48	7%	66	46	10	4%	13.8	65
豊肥	55	6%	93	57	42	6%	71	48	13	5%	22.1	79
西部	70	7%	76	48	46	6%	50	37	24	10%	26.1	86
北部	128	13%	78	49	98	14%	60	42	30	13%	18.4	72
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 44-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
大分県	20,030	1.3%	1,717	61	3,674	3.9%	315	76	23,704	1.4%	2,032	64
東部	4,671	23%	2,214	71	794	22%	376	83	5,465	23%	2,590	75
中部	9,101	45%	1,599	58	1,701	46%	299	75	10,802	46%	1,898	61
南部	1,250	6%	1,731	61	139	4%	192	63	1,389	6%	1,924	62
豊肥	873	4%	1,482	56	230	6%	390	85	1,103	5%	1,872	61
西部	1,580	8%	1,718	61	328	9%	357	81	1,908	8%	2,074	65
北部	2,555	13%	1,567	57	482	13%	296	74	3,037	13%	1,862	61
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 44-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
大分県	11,937	1.3%	1,023	64	2,759	0.9%	237	49	5,244	1.6%	450	59
東部	2,869	24%	1,360	80	894	32%	424	59	850	16%	403	57
中部	5,554	47%	976	62	684	25%	120	43	2,847	54%	500	62
南部	799	7%	1,106	68	267	10%	370	56	180	3%	249	50
豊肥	500	4%	849	57	157	6%	266	51	212	4%	360	55
西部	768	6%	835	56	241	9%	262	51	567	11%	616	67
北部	1,447	12%	887	58	516	19%	316	53	588	11%	361	55
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 44-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
大分県	1,256	1.6%	108	59	1,725	2.2%	148	62
東部	341	27%	162	71	421	24%	200	69
中部	534	43%	94	57	662	38%	116	58
南部	125	10%	173	74	149	9%	206	70
豊肥	59	5%	100	58	86	5%	146	62
西部	131	10%	142	67	175	10%	190	68
北部	66	5%	40	45	232	13%	142	61
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 44-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
大分県	4,564	4,217	199	15,214	7,637	2,397	35.6%	47	7.7%	51
東部	1,885	1,679	108	2,687	1,160	717	59.1%	56	13.1%	54
中部	2,035	1,941	52	6,997	3,614	564	34.9%	47	8.4%	51
南部	195	191	0	988	541	267	26.1%	43	0.0%	48
豊肥	199	156	39	674	344	118	31.2%	45	24.8%	59
西部	0	0	0	1,571	759	241	0.0%	33	0.0%	48
北部	250	250	0	2,297	1,219	490	17.0%	40	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 44-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
大分県	19,680	0.9%	1,687	49	7,920	0.9%	679	48
東部	3,672	19%	1,740	50	1,896	24%	898	57
中部	11,544	59%	2,028	53	3,780	48%	664	48
南部	384	2%	532	35	480	6%	665	48
豊肥	588	3%	998	41	324	4%	550	43
西部	1,080	5%	1,174	43	660	8%	717	50
北部	2,412	12%	1,479	47	780	10%	478	41
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 44-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
大分県	3,148	1.0%	270	53	2,136	1.0%	183	53	1,012	1.0%	87	52
東部	662	21%	314	57	482	23%	228	59	180	18%	85	52
中部	1,771	56%	311	57	1,225	57%	215	57	546	54%	96	56
南部	131	4%	181	43	86	4%	119	44	45	4%	62	42
豊肥	115	4%	195	45	65	3%	110	43	50	5%	85	51
西部	152	5%	165	41	94	4%	102	42	58	6%	63	42
北部	317	10%	194	44	184	9%	113	43	133	13%	82	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 44-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
大分県	268	0.9%	23.0	50	136	1.0%	11.7	51	97	0.9%	8.3	49
東部	63	24%	29.9	56	27	20%	12.8	54	15	15%	7.1	46
中部	160	60%	28.1	55	78	57%	13.7	55	60	62%	10.5	54
南部	5	2%	6.9	36	5	4%	6.9	42	4	4%	5.5	42
豊肥	12	4%	20.4	48	4	3%	6.8	41	2	2%	3.4	36
西部	8	3%	8.7	38	4	3%	4.3	36	8	8%	8.7	50
北部	20	7%	12.3	41	18	13%	11.0	50	8	8%	4.9	40
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 44-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
大分県	50	0.9%	4.3	49	73	0.7%	6.3	45	48	0.6%	4.1	43
東部	8	16%	3.8	47	13	18%	6.2	45	8	17%	3.8	42
中部	31	62%	5.4	54	45	62%	7.9	50	30	63%	5.3	47
南部	1	2%	1.4	36	5	7%	6.9	47	0	0%	0	28
豊肥	2	4%	3.4	45	2	3%	3.4	36	2	4%	3.4	41
西部	1	2%	1.1	35	3	4%	3.3	36	3	6%	3.3	40
北部	7	14%	4.3	49	5	7%	3.1	35	5	10%	3.1	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 44-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
大分県	111	1.1%	9.5	55	258	1.2%	22.1	57	175	1.0%	15.0	54
東部	16	14%	7.6	50	58	22%	27.5	65	37	21%	17.5	59
中部	66	59%	11.6	61	139	54%	24.4	60	94	54%	16.5	57
南部	1	1%	1.4	33	11	4%	15.2	47	10	6%	13.8	51
豊肥	6	5%	10.2	57	9	3%	15.3	47	7	4%	11.9	47
西部	11	10%	12.0	62	15	6%	16.3	49	10	6%	10.9	45
北部	11	10%	6.7	48	26	10%	15.9	48	17	10%	10.4	44
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 44-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
大分県	68	1.1%	5.8	54	76	1.1%	6.5	54	66	1.1%	5.7	53
東部	13	19%	6.2	56	13	17%	6.2	53	19	29%	9.0	64
中部	38	56%	6.7	58	42	55%	7.4	58	32	48%	5.6	53
南部	5	7%	6.9	59	5	7%	6.9	56	5	8%	6.9	57
豊肥	1	1%	1.7	35	1	1%	1.7	35	1	2%	1.7	41
西部	2	3%	2.2	38	6	8%	6.5	54	2	3%	2.2	42
北部	9	13%	5.5	53	9	12%	5.5	50	7	11%	4.3	49
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 44-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
大分県	83	1.1%	7.1	54	14	0.8%	1.2	49	36	0.8%	3.1	49
東部	15	18%	7.1	54	4	29%	1.9	56	7	19%	3.3	50
中部	55	66%	9.7	62	8	57%	1.4	51	27	75%	4.7	57
南部	2	2%	2.8	41	0	0%	0	37	0	0%	0	34
豊肥	2	2%	3.4	43	0	0%	0	37	0	0%	0	34
西部	4	5%	4.3	46	0	0%	0	37	1	3%	1.1	39
北部	5	6%	3.1	42	2	14%	1.2	49	1	3%	0.6	37
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 44-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
大分県	20	0.9%	1.7	50	28	1.0%	2.4	52
東部	3	15%	1.4	47	8	29%	3.8	61
中部	15	75%	2.6	57	19	68%	3.3	58
南部	0	0%	0	36	0	0%	0	35
豊肥	1	5%	1.7	50	0	0%	0	35
西部	1	5%	1.1	45	1	4%	1.1	43
北部	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 44-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
大分県	15,244	1.3%	1,307	64	12,081	1.3%	1,036	63	3,163	1.4%	271	63
東部	3,570	23%	1,692	78	2,933	24%	1,390	77	638	20%	302	67
中部	7,108	47%	1,249	62	5,457	45%	959	60	1,651	52%	290	66
南部	924	6%	1,279	63	803	7%	1,112	66	120	4%	167	48
豊肥	703	5%	1,193	60	537	4%	911	58	166	5%	281	65
西部	1,132	7%	1,230	61	888	7%	965	60	244	8%	265	62
北部	1,809	12%	1,109	57	1,464	12%	898	57	344	11%	211	55
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 44-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
大分県	2,379	1.7%	204	67	2,236	0.7%	192	45
東部	553	23%	262	77	408	18%	193	45
中部	1,069	45%	188	64	1,202	54%	211	47
南部	160	7%	221	69	123	6%	170	43
豊肥	145	6%	246	74	87	4%	148	41
西部	213	9%	232	71	139	6%	151	41
北部	239	10%	146	56	277	12%	170	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 44-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
大分県	193	1.3%	1.1	54	31	2.1%	0.2	61	145	1.3%	0.8	54
東部	35	18%	0.9	51	6	19%	0.2	60	36	25%	1.0	62
中部	116	60%	1.6	66	15	48%	0.2	66	61	42%	0.8	56
南部	8	4%	0.6	42	1	3%	0.1	47	8	6%	0.6	43
豊肥	16	8%	1.1	54	2	6%	0.1	56	8	6%	0.5	42
西部	6	3%	0.3	38	4	13%	0.2	70	10	7%	0.6	44
北部	12	6%	0.4	40	3	10%	0.1	52	22	15%	0.8	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 44-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
大分県	16,577	1.0%	90	41	10,780	1.1%	59	48	5,797	0.8%	32	42
東部	3,902	24%	105	50	2,425	22%	65	53	1,477	25%	40	47
中部	6,315	38%	87	39	3,975	37%	55	45	2,340	40%	32	43
南部	1,296	8%	90	41	758	7%	53	43	538	9%	37	46
豊肥	1,244	8%	83	37	990	9%	66	54	254	4%	17	33
西部	1,318	8%	77	33	996	9%	58	47	322	6%	19	34
北部	2,502	15%	91	41	1,636	15%	59	48	866	15%	31	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 44-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
大分県	4,811	1.3%	26	56	5,552	1.0%	30	44	417	0.8%	2.3	48
東部	952	20%	26	55	1,221	22%	33	47	252	60%	6.8	59
中部	1,890	39%	26	56	2,046	37%	28	42	39	9%	0.5	43
南部	358	7%	25	54	400	7%	28	42	0	0%	0	42
豊肥	491	10%	33	67	484	9%	32	46	15	4%	1.0	44
西部	411	9%	24	52	555	10%	32	46	30	7%	1.7	46
北部	709	15%	26	55	846	15%	31	45	81	19%	2.9	49
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
大分県	1,484	0.6%	8.1	44	170	0.7%	0.9	48	1,977	1.0%	10.8	47
東部	462	31%	12.5	48	150	88%	4.0	62	324	16%	8.7	43
中部	500	34%	6.9	43	20	12%	0.3	45	817	41%	11.3	48
南部	135	9%	9.4	45	0	0%	0	43	216	11%	15.0	54
豊肥	48	3%	3.2	39	0	0%	0	43	185	9%	12.3	50
西部	100	7%	5.8	42	0	0%	0	43	126	6%	7.3	41
北部	239	16%	8.7	44	0	0%	0	43	309	16%	11.2	48
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
大分県	2,166	0.9%	11.8	46	78	0.3%	0.4	44	2,088	0.9%	11.4	47
東部	541	25%	14.6	49	78	100%	2.1	53	463	22%	12.5	49
中部	1,003	46%	13.9	48	0	0%	0	42	1,003	48%	13.9	51
南部	187	9%	13.0	47	0	0%	0	42	187	9%	13.0	49
豊肥	21	1%	1.4	32	0	0%	0	42	21	1%	1.4	33
西部	96	4%	5.6	37	0	0%	0	42	96	5%	5.6	39
北部	318	15%	11.5	45	0	0%	0	42	318	15%	11.5	47
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 44-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
大分県	2,094	1.2%	11.4	53	1,449	1.2%	7.9	53	646	1.2%	3.5	51
東部	488	23%	13.2	61	331	23%	8.9	59	157	24%	4.2	57
中部	854	41%	11.8	55	532	37%	7.4	50	322	50%	4.5	59
南部	114	5%	7.9	37	94	7%	6.5	46	20	3%	1.4	32
豊肥	174	8%	11.6	54	141	10%	9.4	61	33	5%	2.2	40
西部	152	7%	8.8	42	124	9%	7.2	50	28	4%	1.6	35
北部	312	15%	11.3	53	226	16%	8.2	55	86	13%	3.1	47
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
大分県	17,147	1.1%	93	51	14,454	1.1%	79	49	2,693	1.2%	14.7	52
東部	3,192	19%	86	44	2,776	19%	75	46	416	15%	11.2	46
中部	7,307	43%	101	57	6,070	42%	84	54	1,237	46%	17.1	57
南部	1,276	7%	88	46	1,013	7%	70	41	263	10%	18.2	59
豊肥	1,330	8%	89	46	1,176	8%	78	49	154	6%	10.3	44
西部	1,563	9%	91	48	1,330	9%	77	48	233	9%	13.6	50
北部	2,479	14%	90	48	2,088	14%	76	47	391	15%	14.2	51
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
大分県	12,726	1.0%	69	48	4,453	0.8%	24	43	14,053	1.3%	77	53
東部	2,600	20%	70	49	1,036	23%	28	46	1,862	13%	50	42
中部	7,055	55%	97	56	2,189	49%	30	47	7,886	56%	109	67
南部	524	4%	36	39	270	6%	19	39	981	7%	68	50
豊肥	747	6%	50	43	277	6%	18	39	771	5%	51	43
西部	500	4%	29	37	239	5%	14	36	739	5%	43	39
北部	1,300	10%	47	42	442	10%	16	37	1,814	13%	66	49
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
大分県		1,209,571	1,166,338	-4%	1,089,084	-10%	8%	2%	10%
東部	地方都市型	224,841	211,019	-6%	191,531	-15%	5%	-2%	3%
中部	地方都市型	562,511	569,125	1%	556,069	-1%	15%	9%	25%
南部	過疎地域型	80,297	72,211	-10%	62,020	-23%	3%	-5%	-1%
豊肥	過疎地域型	68,082	58,916	-13%	49,359	-28%	-4%	-9%	-13%
西部	過疎地域型	103,549	91,991	-11%	78,592	-24%	0%	-6%	-6%
北部	過疎地域型	170,291	163,076	-4%	151,513	-11%	4%	-1%	3%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資\_図表 44-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
大分県	165	13.6	67	157	13.5	67	-8	-5%
東部	37	16.5	74	36	17.1	77	-1	-3%
中部	65	11.6	62	62	10.9	61	-3	-5%
南部	9	11.2	61	8	11.1	61	-1	-11%
豊肥	9	13.2	66	7	11.9	63	-2	-22%
西部	21	20.3	84	20	21.7	88	-1	-5%
北部	24	14.1	68	24	14.7	71	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 44-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
大分県	971	80	52	955	82	51	-16	-2%
東部	199	89	56	185	88	54	-14	-7%
中部	430	76	50	459	81	50	29	7%
南部	63	78	51	58	80	50	-5	-8%
豊肥	58	85	55	55	93	57	-3	-5%
西部	79	76	50	70	76	48	-9	-11%
北部	142	83	54	128	78	49	-14	-10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 44-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
大分県	2,898	240	53	3,148	270	53	250	9%
東部	618	275	58	662	314	57	44	7%
中部	1,523	271	57	1,771	311	57	248	16%
南部	150	187	47	131	181	43	-19	-13%
豊肥	128	188	47	115	195	45	-13	-10%
西部	151	146	42	152	165	41	1	1%
北部	328	193	48	317	194	44	-11	-3%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 44-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
大分県	26,328	218	64	23,704	203	64	-2,624	-10%
東部	6,512	290	76	5,465	259	75	-1,047	-16%
中部	11,646	207	62	10,802	190	61	-844	-7%
南部	1,518	189	58	1,389	192	62	-129	-8%
豊肥	1,233	181	57	1,103	187	61	-130	-11%
西部	2,069	200	60	1,908	207	65	-161	-8%
北部	3,350	197	60	3,037	186	61	-313	-9%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 44-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
大分県	16,436	136	68	15,324	131	71	-1,112	-7%
東部	3,878	172	81	3,588	170	86	-290	-7%
中部	7,417	132	67	7,171	126	69	-246	-3%
南部	1,029	128	66	938	130	70	-91	-9%
豊肥	787	116	61	711	121	67	-76	-10%
西部	1,235	119	63	1,070	116	65	-165	-13%
北部	2,090	123	64	1,846	113	64	-244	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 44-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

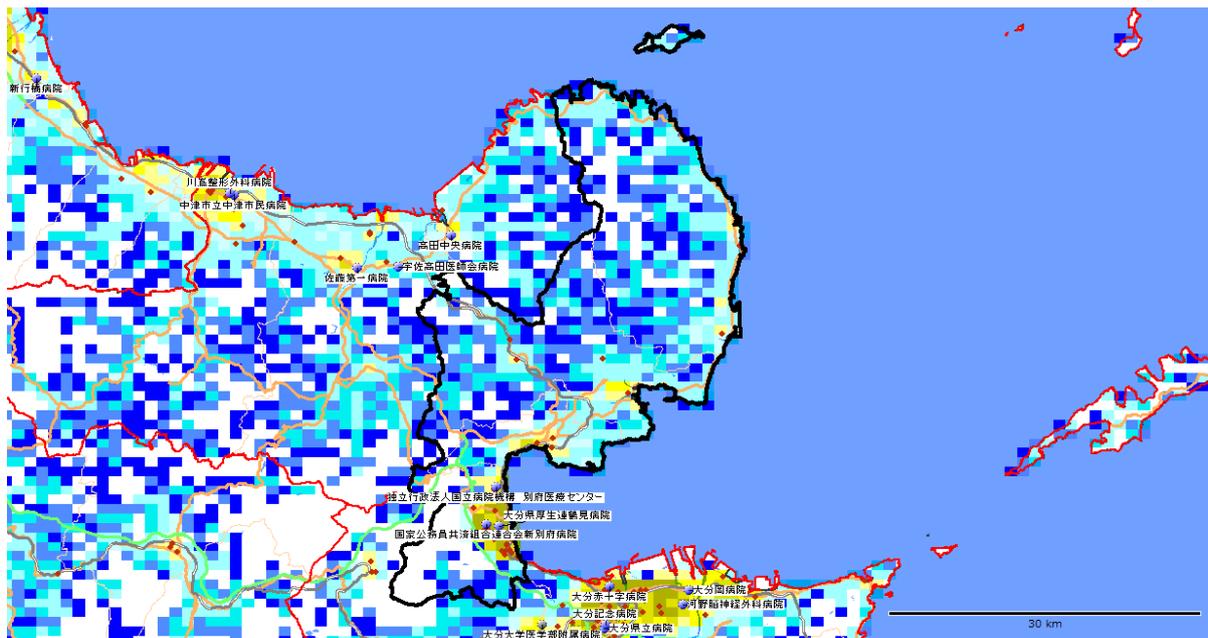
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
大分県	4,224	29	48	3,046	17	47	-1,178	-28%
東部	1,421	47	59	969	26	55	-452	-32%
中部	1,368	27	47	768	11	41	-600	-44%
南部	261	23	45	267	19	49	6	2%
豊肥	230	17	42	176	12	42	-54	-23%
西部	263	18	42	267	16	46	4	2%
北部	681	29	48	599	22	51	-82	-12%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 44-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村 [別府市](#) [杵築市](#) [国東市](#) [姫島村](#)  
[日出町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東部(別府市)は、総人口約211千人(2015年)、面積804km<sup>2</sup>、人口密度は263人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に192千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に161千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて43千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には40千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値65)、介護給付費は266千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数は1.8、一人当たり慢性期医療密度指数は0.59で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数59、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は78と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は80で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が1000例以上のNH0別府医療センター(Ⅲ群)、500例以上の鶴見病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値77と非常に多く、回復期病床数は偏差値71と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,902人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,425床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,477床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,776人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム48、軽費ホーム62、グループホーム43、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、416人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

## (東部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年224,841人が、2015年に211,019人と6%減少し、2025年の人口が191,531人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

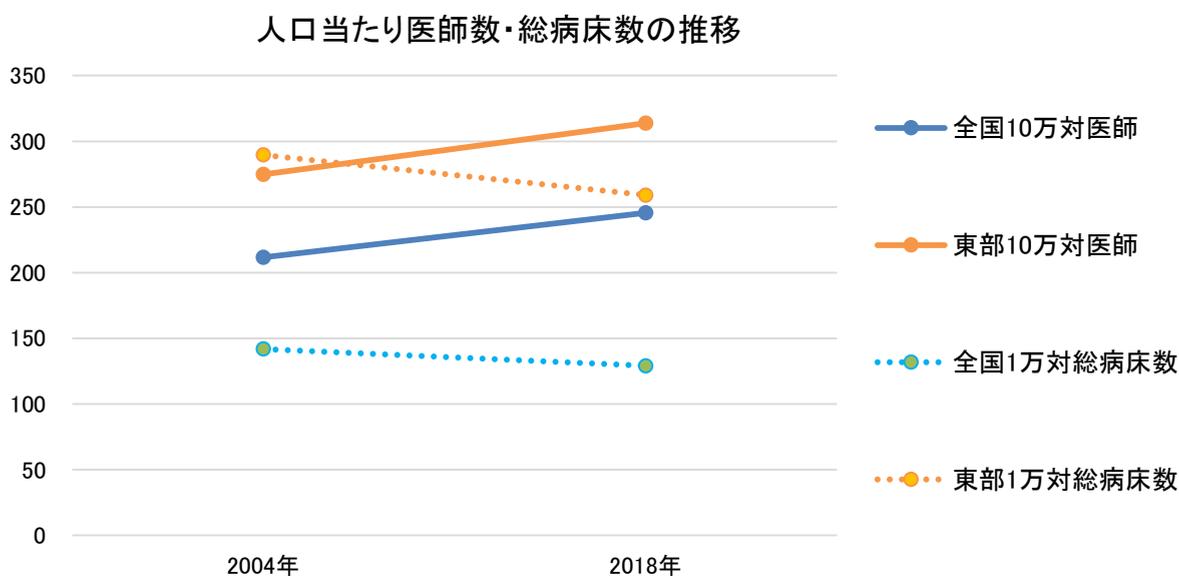
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が37(人口10万人当たり16.5病院(全国平均7.1)偏差値74)であったが、2018年に36(人口10万人当たり17.1病院(全国平均6.6)偏差値77)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が199(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に185(人口10万人当たり88診療所(全国平均80)偏差値54)と、14診療所が減少した。

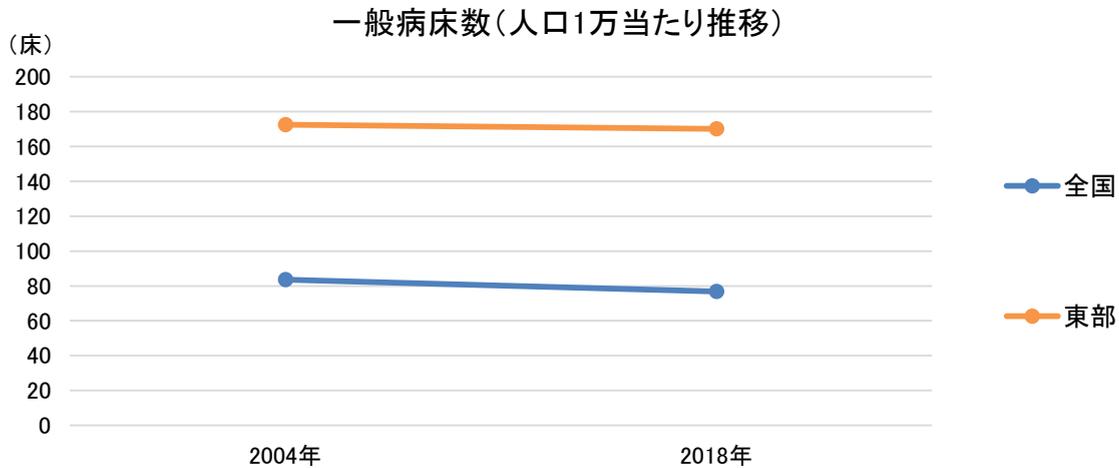
2004年の総病床数が6,512床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2018年に5,465床(人口1万人当たり259(全国平均129)偏差値75)と、1,047床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が618人(人口10万人当たり275人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2018年に662人(人口10万人当たり314人(全国平均245人)偏差値57)と、44人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



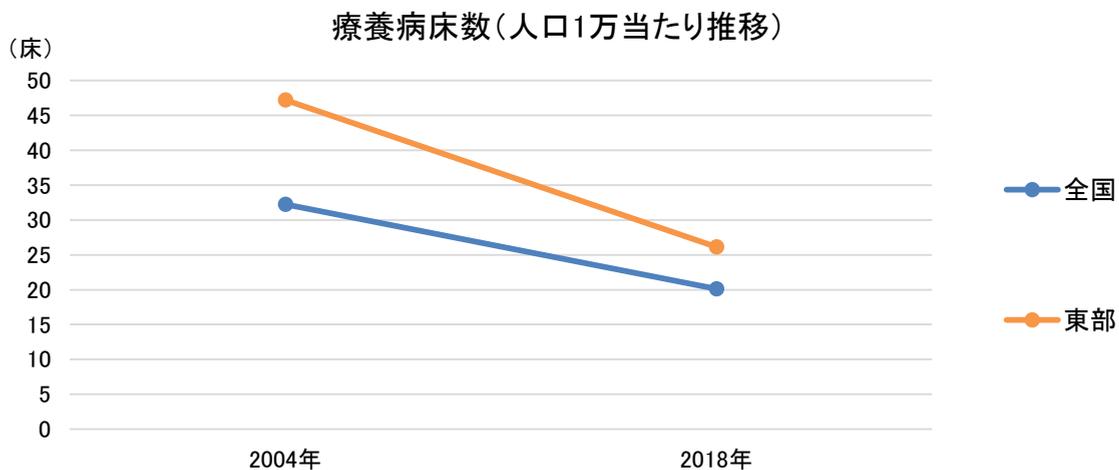
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,878床(人口1万人当たり172(全国平均84)偏差値81)であったが、2018年に3,588床(人口1万人当たり170(全国平均77)偏差値86)と、290床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



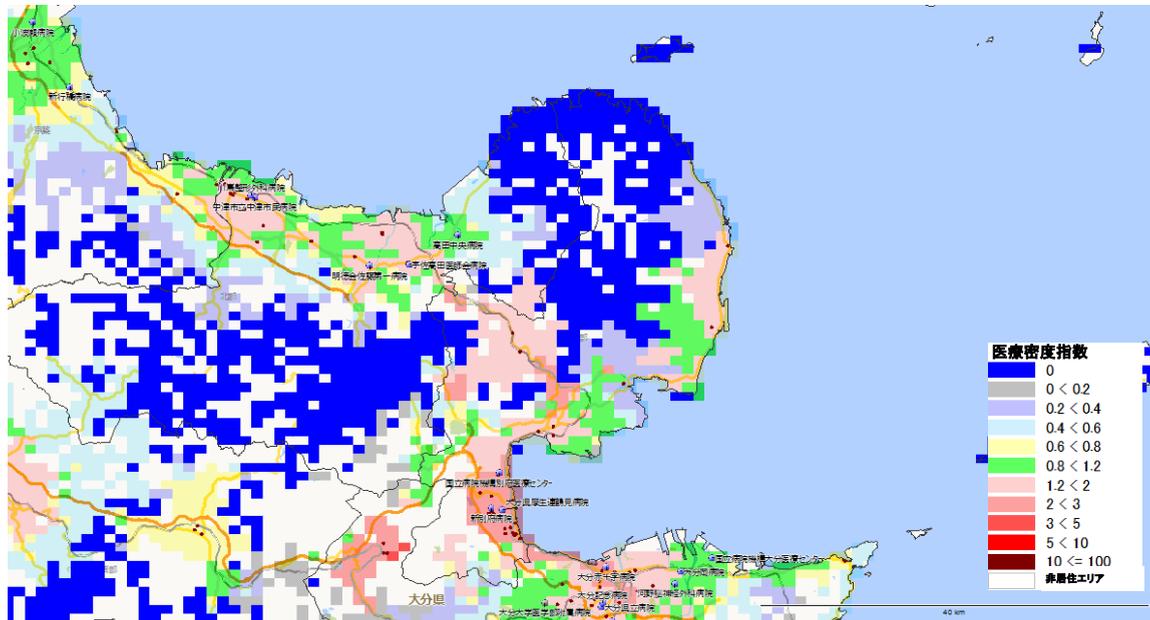
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,421床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2018年に969床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均20)偏差値55)と、452床の減少、率にして32%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



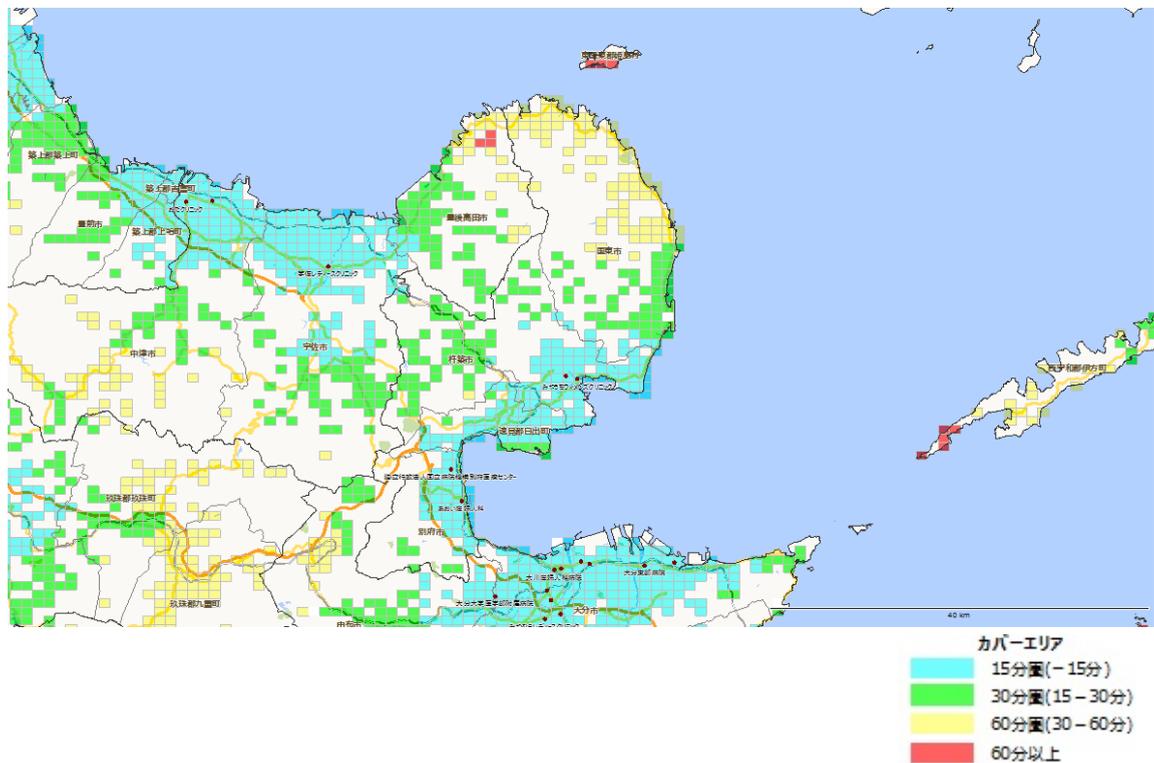
(東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

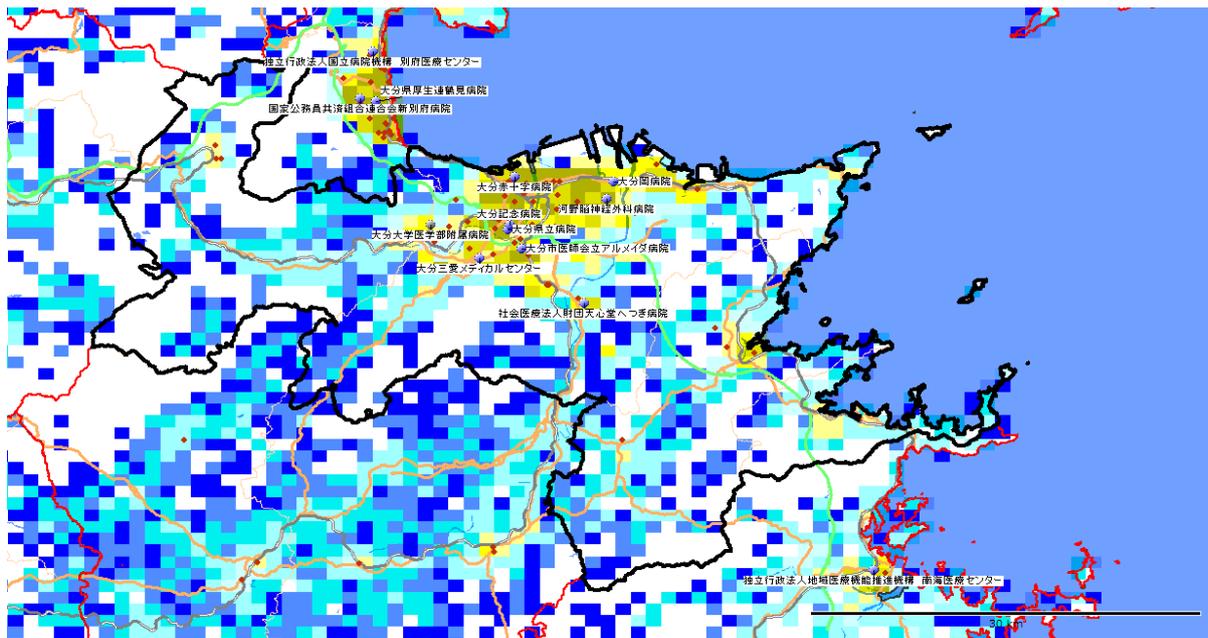


# 44-2. ちゅうぶ 中部医療圏

構成市区町村 [大分市](#) [臼杵市](#) [津久見市](#) [由布市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

## (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 中部(大分市)は、総人口約569千人(2015年)、面積1,192km<sup>2</sup>、人口密度は477人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 中部の総人口は2025年に556千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に511千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて102千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には111千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 中部の一人当たり医療費(国保)は430千円(偏差値67)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 中部の一人当たり急性期医療密度指数は1.28、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数57、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大分県立病院(Ⅲ群・救命)、大分大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上のアルメイダ病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の大分赤十字病院(Ⅲ群)、大分岡病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,315人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,975床(偏差値45)、高齢者住宅等が2,340床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,070人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム43、軽費ホーム45、グループホーム48、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値66と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,237人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-52%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (中部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

中部医療圏の総人口は、2005年562,511人が、2015年に569,125人と1%増加し、2025年の人口が556,069人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

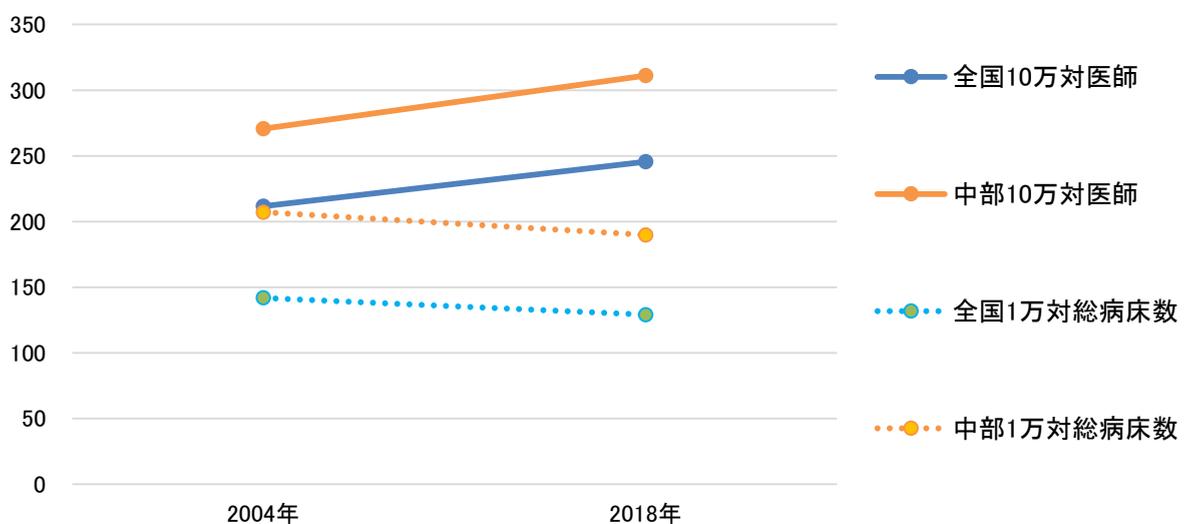
2004年の病院数が65(人口10万人当たり11.6病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2018年に62(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が430(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に459(人口10万人当たり81診療所(全国平均80)偏差値50)と、29診療所が増加した。

2004年の総病床数が11,646床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2018年に10,802床(人口1万人当たり190(全国平均129)偏差値61)と、844床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

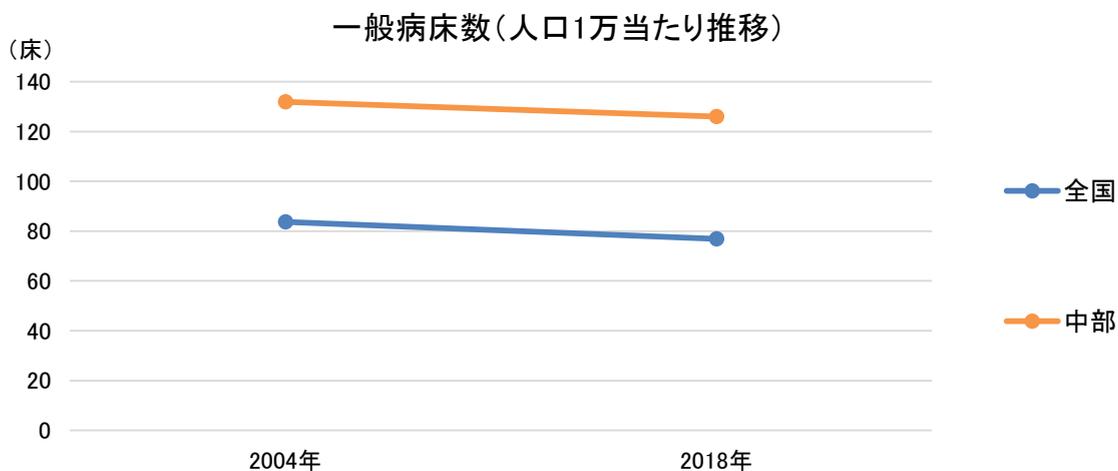
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,523人(人口10万人当たり271人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2018年に1,771人(人口10万人当たり311人(全国平均245人)偏差値57)と、248人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



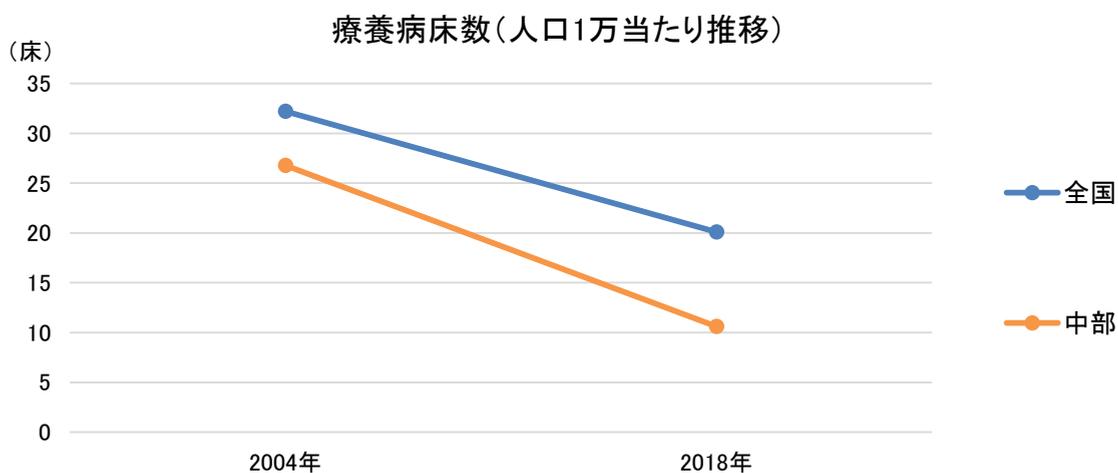
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,417床(人口1万人当たり132(全国平均84)偏差値67)であったが、2018年に7,171床(人口1万人当たり126(全国平均77)偏差値69)と、246床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



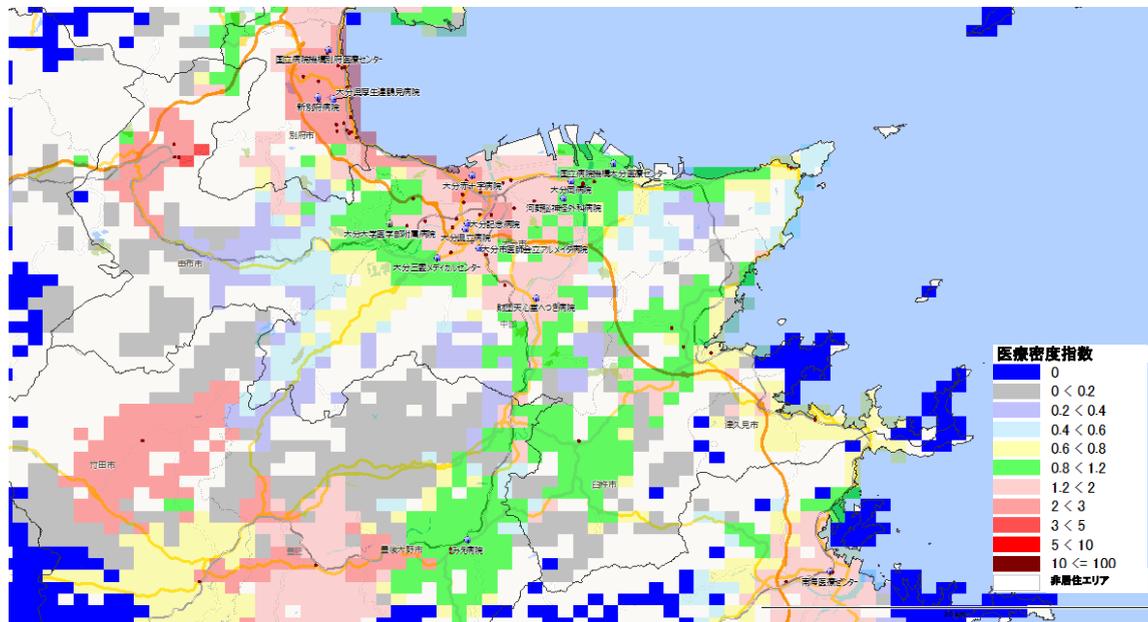
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,368床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2018年に768床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、600床の減少、率にして44%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



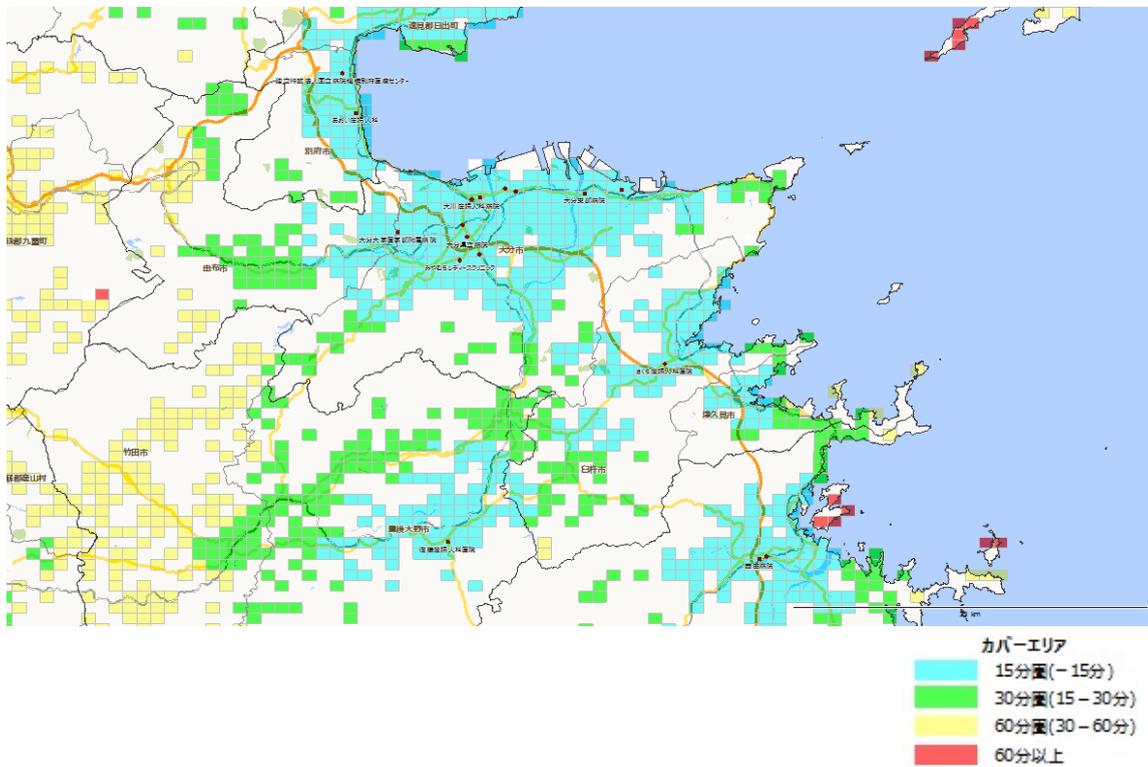
## (中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

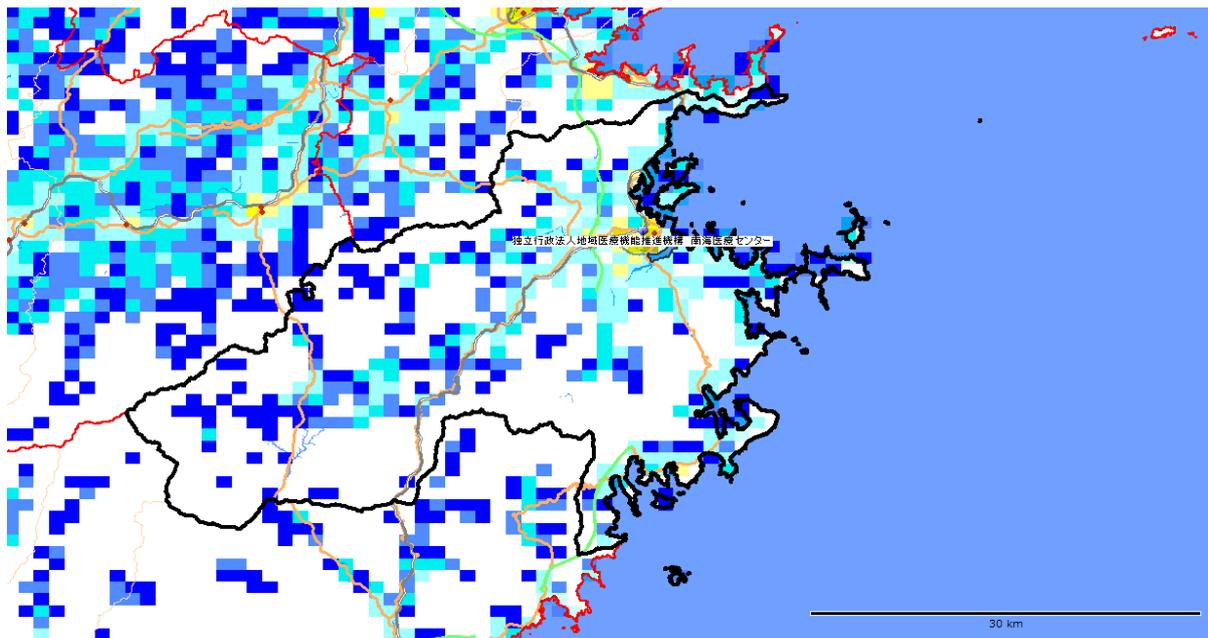


# 44-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村 [佐伯市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 南部(佐伯市)は、総人口約72千人(2015年)、面積903km<sup>2</sup>、人口密度は80人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 南部の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の14千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 南部の一人当たり医療費(国保)は412千円(偏差値63)、介護給付費は251千円(偏差値49)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.97で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値74と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,296人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が758床(偏差値43)、高齢者住宅等が538床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,013人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住47である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、263人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年80,297人が、2015年に72,211人と10%減少し、2025年の人口が62,020人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

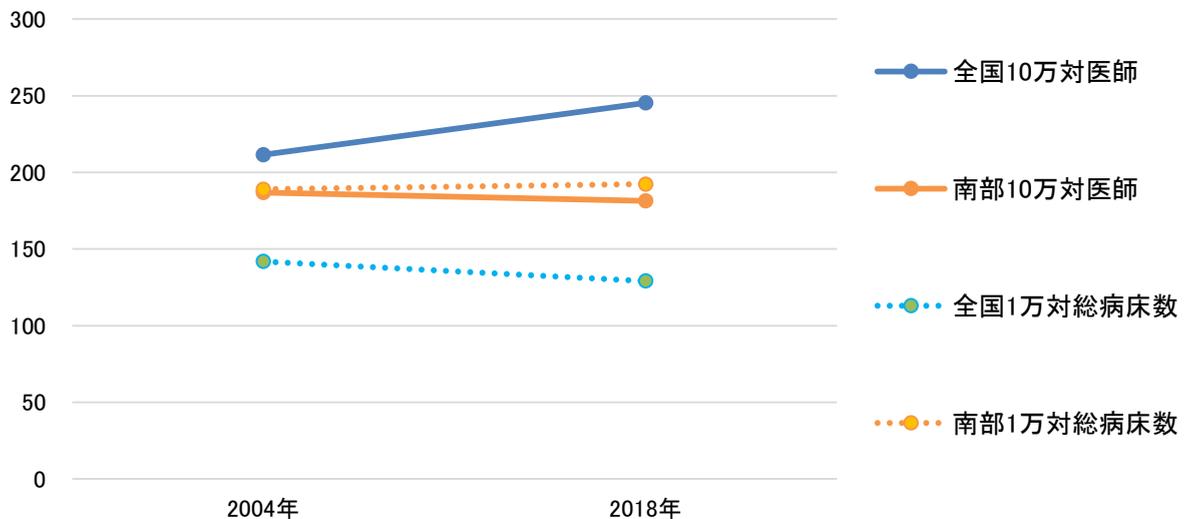
2004年の病院数が9(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2018年に8(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値61)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が63(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に58(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,518床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2018年に1,389床(人口1万人当たり192(全国平均129)偏差値62)と、129床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

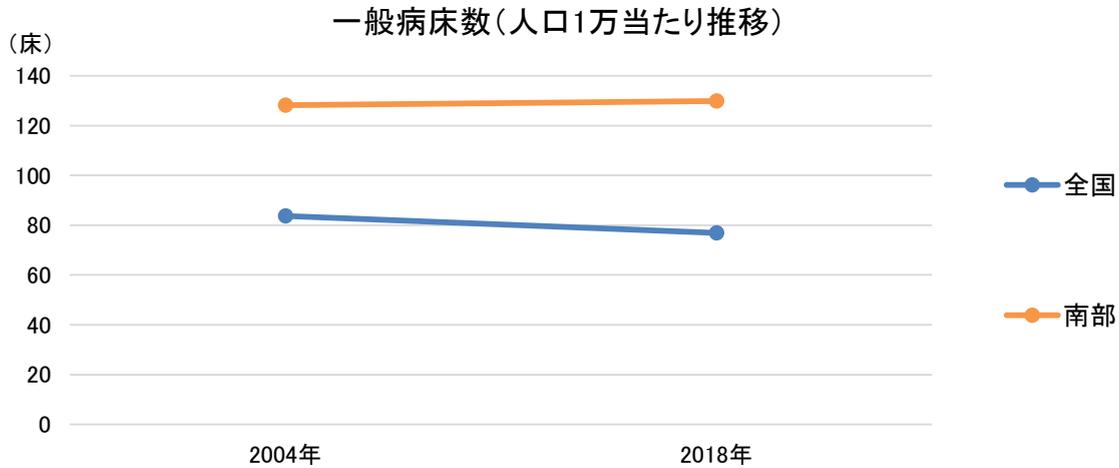
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が150人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に131人(人口10万人当たり181人(全国平均245人)偏差値43)と、19人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



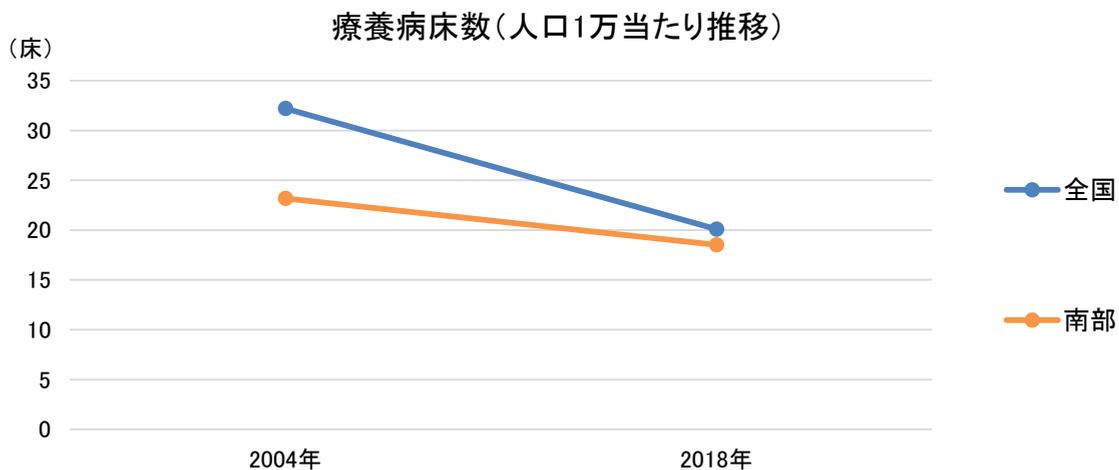
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,029床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2018年に938床(人口1万人当たり130(全国平均77)偏差値70)と、91床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



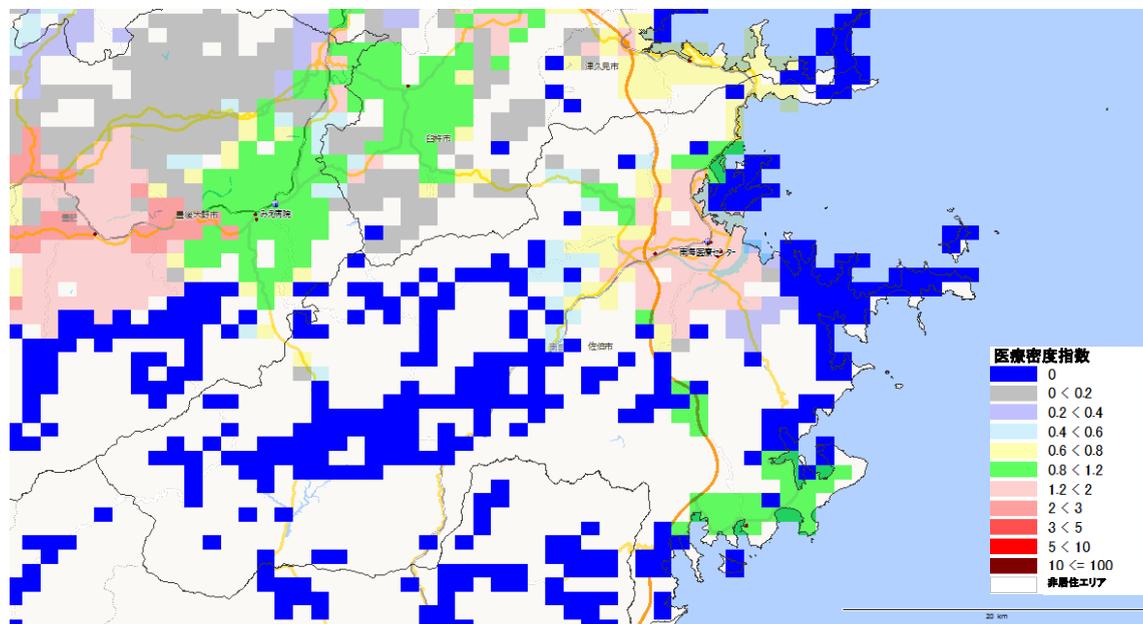
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が261床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2018年に267床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、6床の増加、率にして2%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



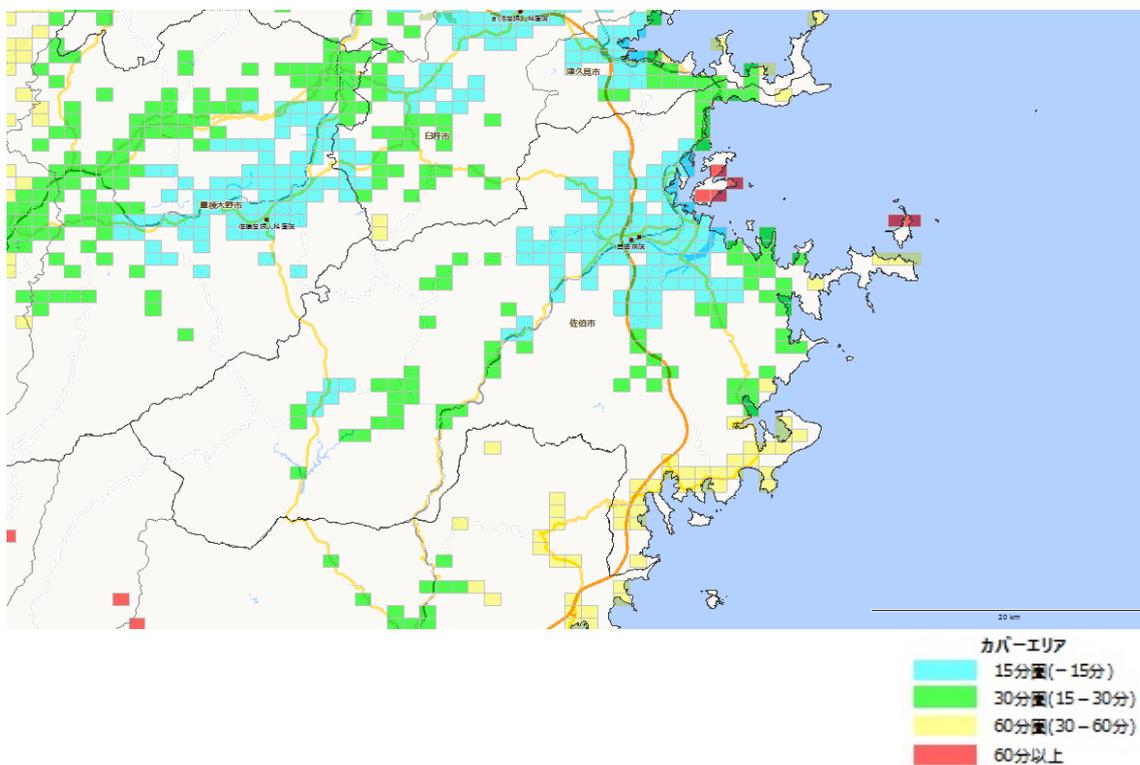
(南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

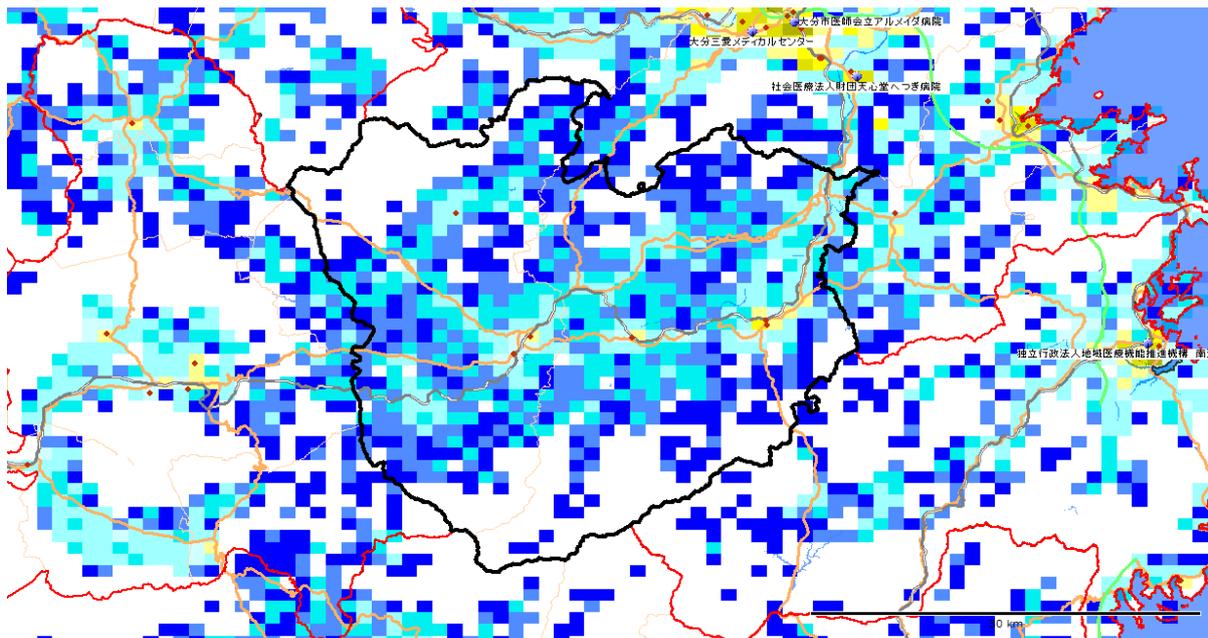
※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出産数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



# 44-4. ほうひ 豊肥医療圏

構成市区町村 [竹田市](#)[豊後大野市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)

1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS  
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

## (豊肥医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 豊肥(竹田市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1,081km<sup>2</sup>、人口密度は55人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 豊肥の総人口は2025年に49千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に37千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 豊肥の一人当たり医療費(国保)は468千円(偏差値76)、介護給付費は317千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 豊肥の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は1.13で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,244人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が990床(偏差値54)、高齢者住宅等が254床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,176人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住32である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (豊肥医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

豊肥医療圏の総人口は、2005年68,082人が、2015年に58,916人と13%減少し、2025年の人口が49,359人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

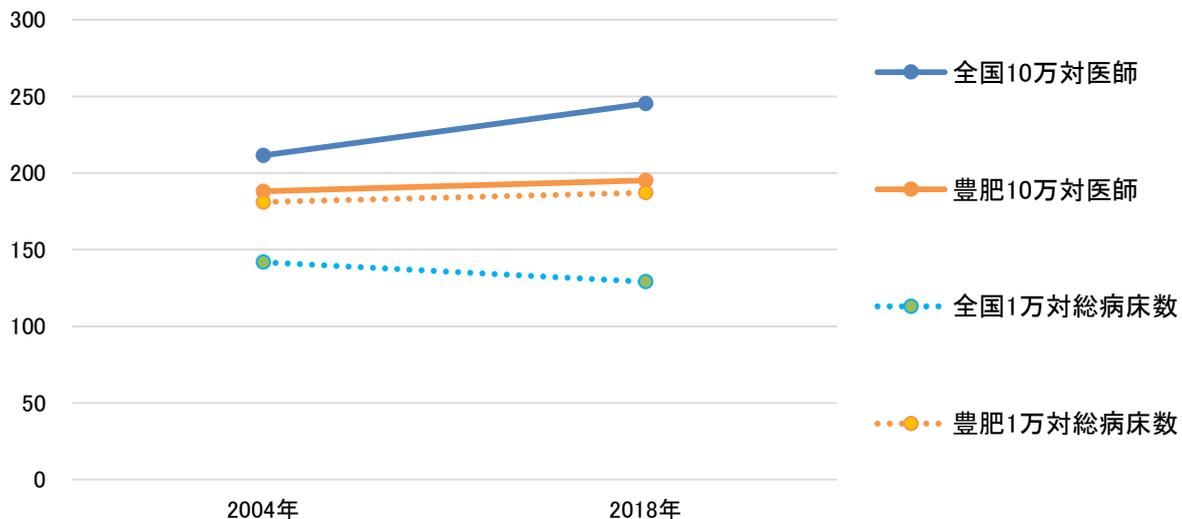
2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2018年に7(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2018年に55(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,233床(人口1万人当たり181(全国平均142)偏差値57)であったが、2018年に1,103床(人口1万人当たり187(全国平均129)偏差値61)と、130床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

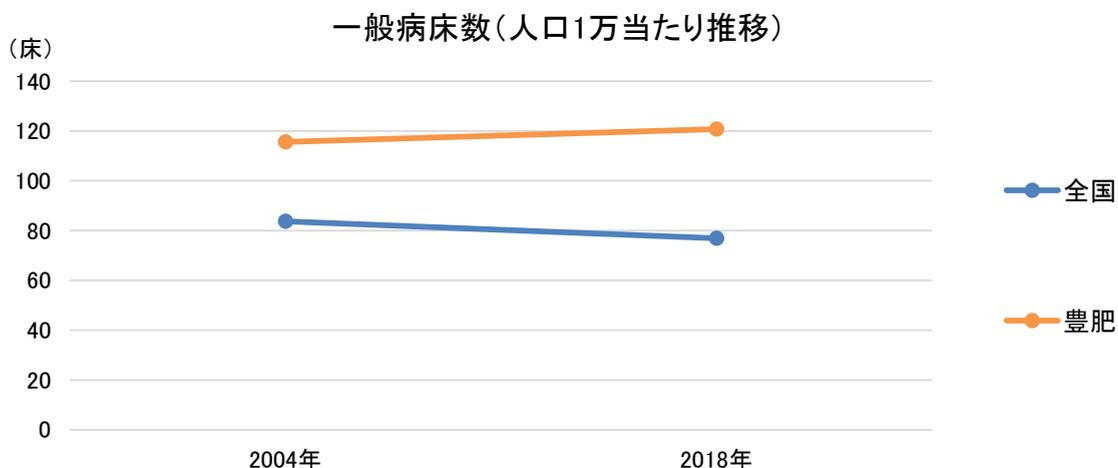
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が128人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に115人(人口10万人当たり195人(全国平均245人)偏差値45)と、13人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



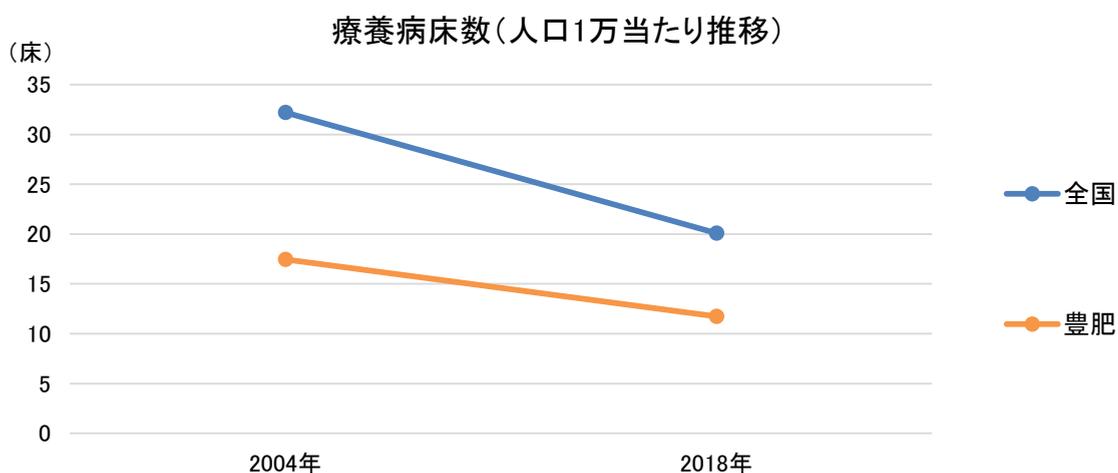
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が787床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2018年に711床(人口1万人当たり121(全国平均77)偏差値67)と、76床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



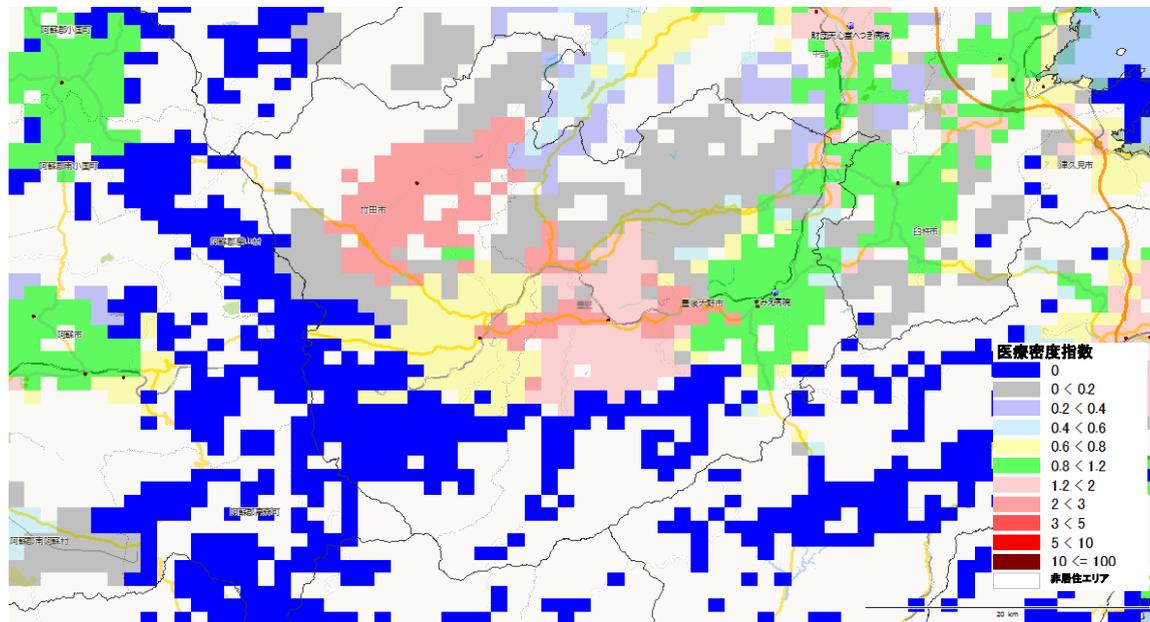
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が230床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に176床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、54床の減少、率にして23%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



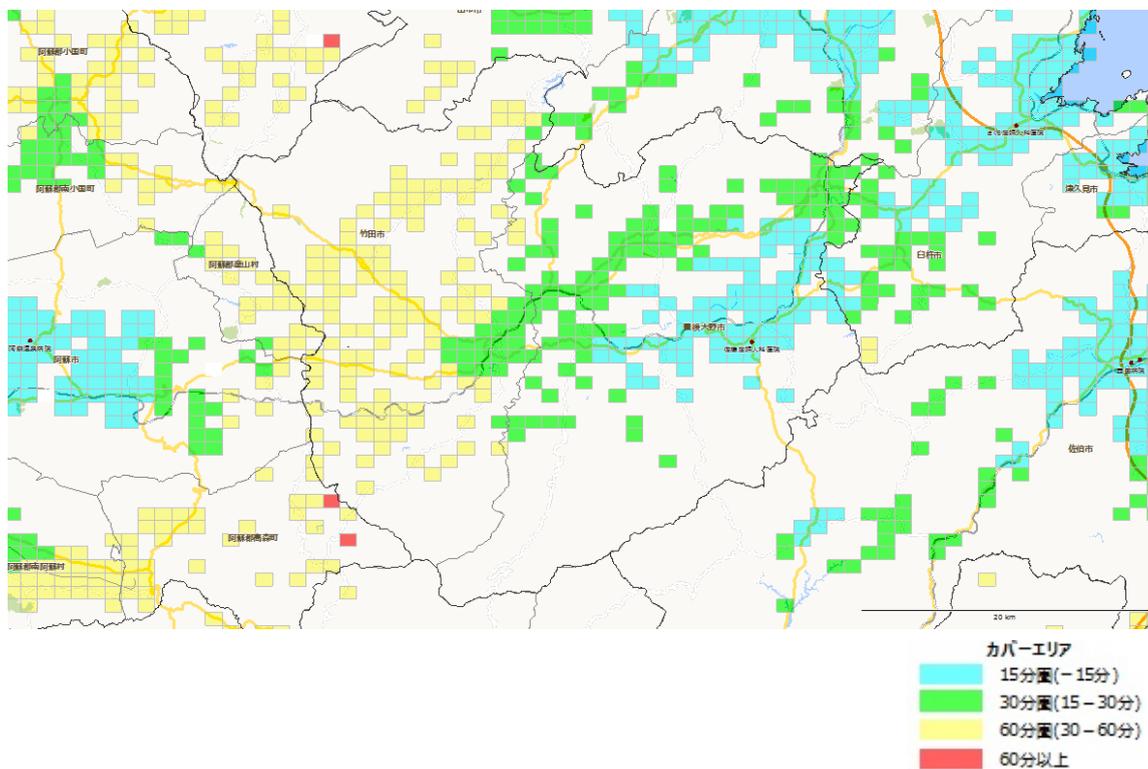
## (豊肥医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

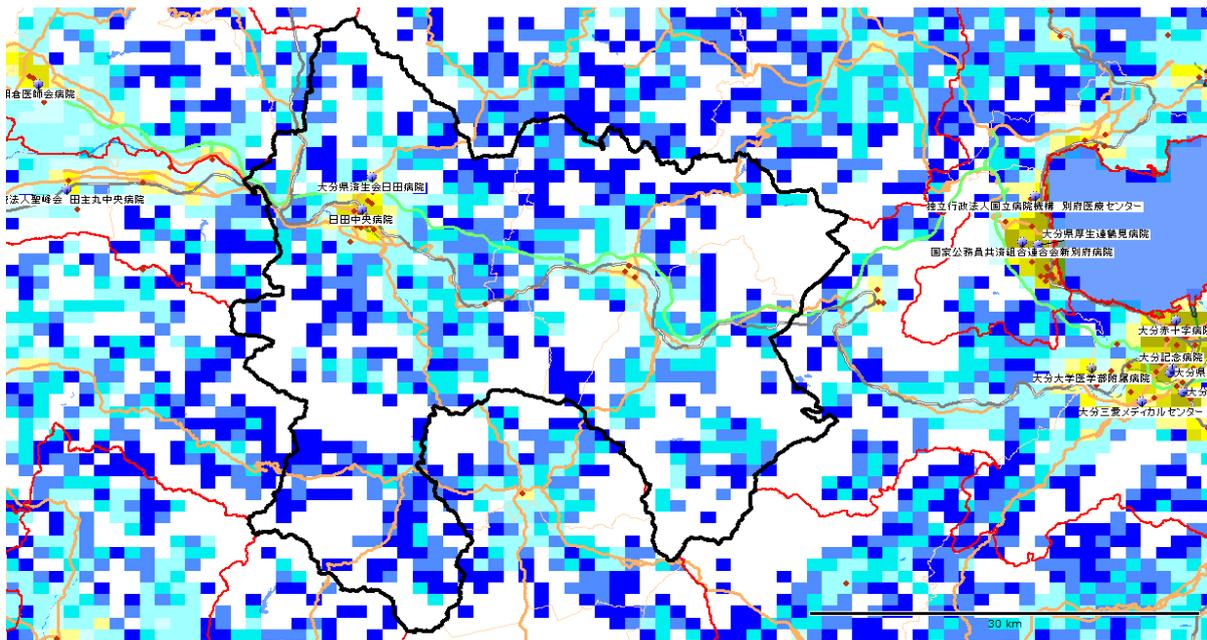


# 44-5. せいぶ西部医療圏

構成市区町村 [且田市](#) [九重町](#) [玖珠町](#)

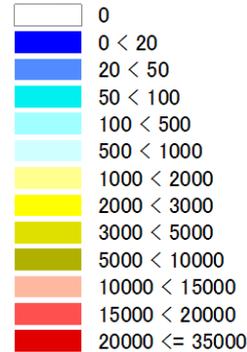
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：西部(日田市)は、総人口約92千人(2015年)、面積1,224km<sup>2</sup>、人口密度は75人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に79千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に59千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて18千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には17千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は423千円(偏差値65)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は1.28で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,318人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が996床(偏差値47)、高齢者住宅等が322床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,330人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住37である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、233人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (西部医療圏) 2. 推移

## 【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年103,549人が、2015年に91,991人と11%減少し、2025年の人口が78,592人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

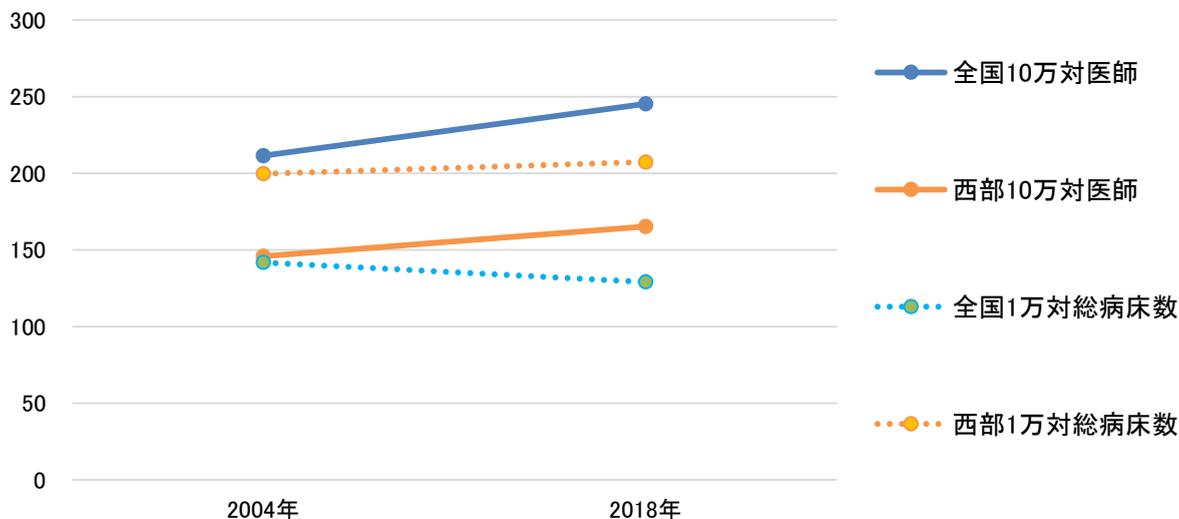
2004年の病院数が21(人口10万人当たり20.3病院(全国平均7.1)偏差値84)であったが、2018年に20(人口10万人当たり21.7病院(全国平均6.6)偏差値88)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が79(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に70(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、9診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,069床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に1,908床(人口1万人当たり207(全国平均129)偏差値65)と、161床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

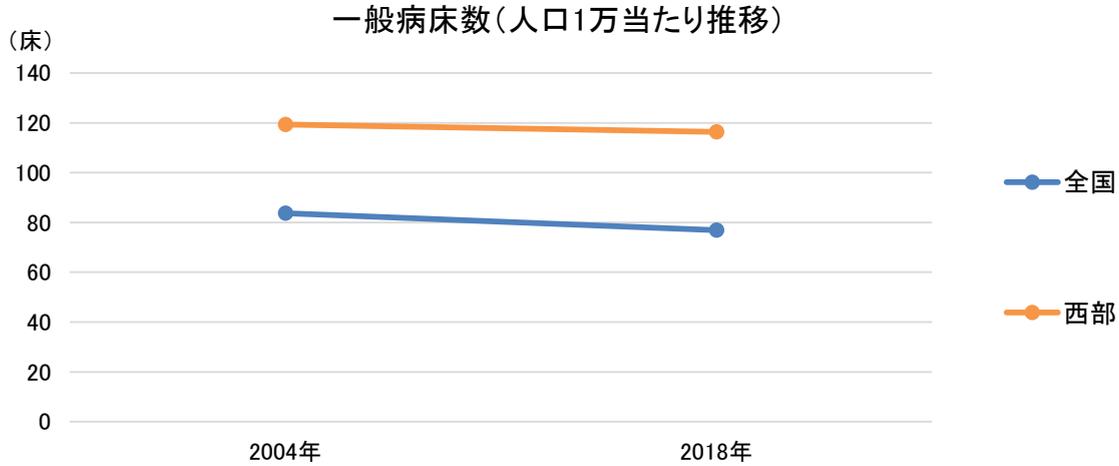
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に152人(人口10万人当たり165人(全国平均245人)偏差値41)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



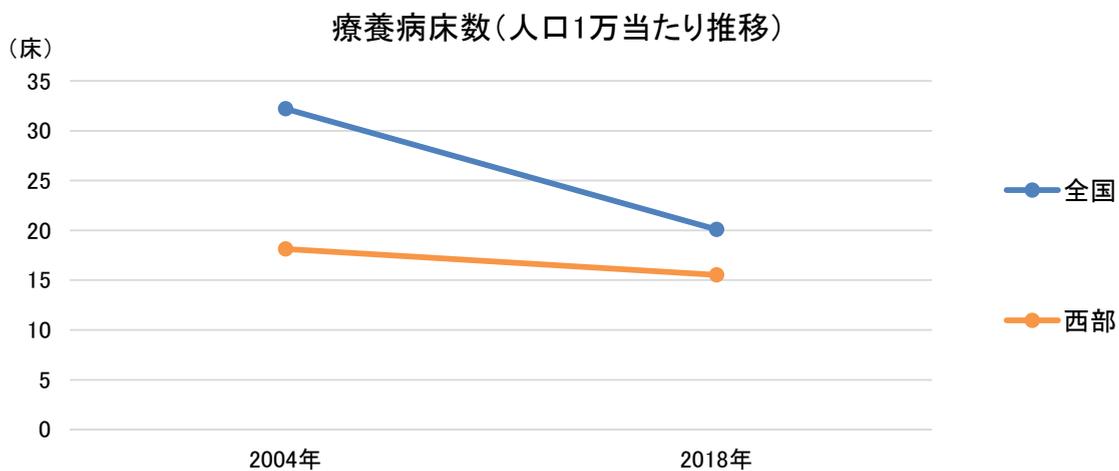
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,235床(人口1万人当たり119(全国平均84)偏差値63)であったが、2018年に1,070床(人口1万人当たり116(全国平均77)偏差値65)と、165床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



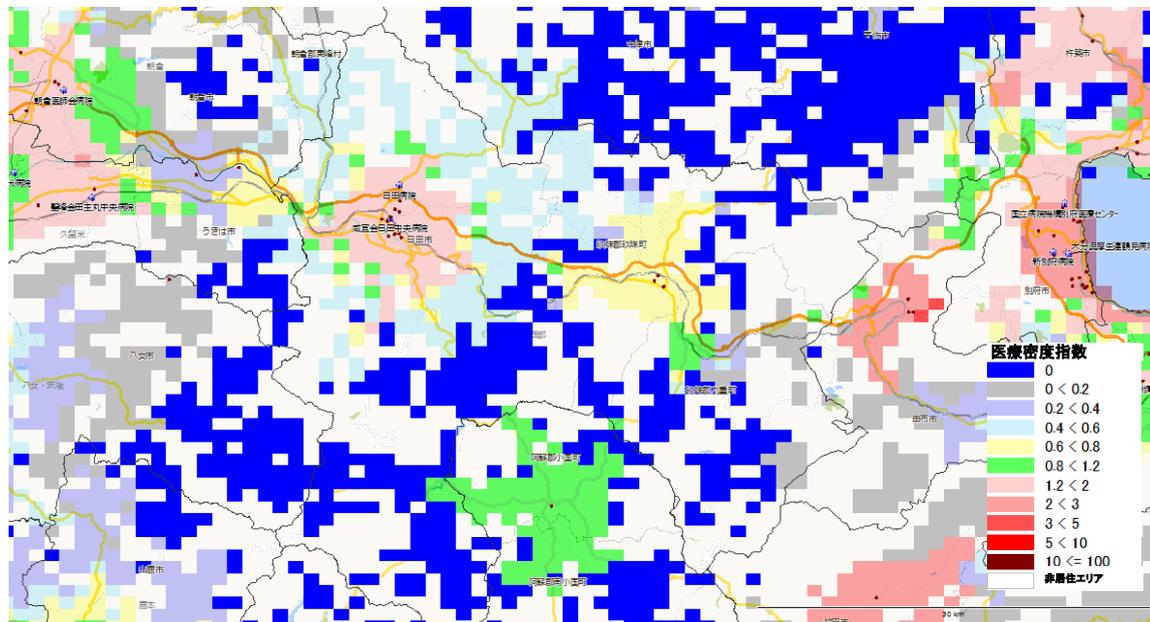
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が263床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均32)偏差値42)であったが、2018年に267床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、4床の増加、率にして2%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



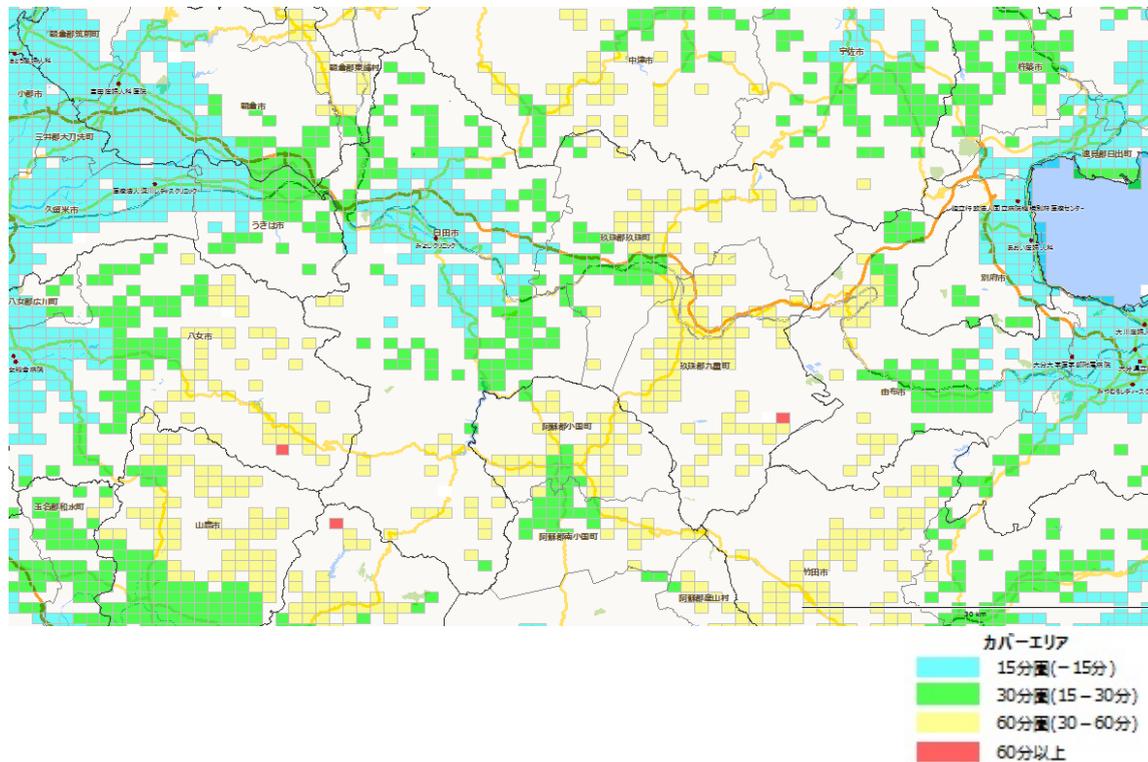
(西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )





## (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北部(中津市)は、総人口約163千人(2015年)、面積1,137km<sup>2</sup>、人口密度は143人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北部の総人口は2025年に152千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に132千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には29千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北部の一人当たり医療費(国保)は427千円(偏差値66)、介護給付費は259千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の中津市立中津市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値56と多く、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,502人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,636床(偏差値48)、高齢者住宅等が866床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,088人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、391人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (北部医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

北部医療圏の総人口は、2005年170,291人が、2015年に163,076人と4%減少し、2025年の人口が151,513人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

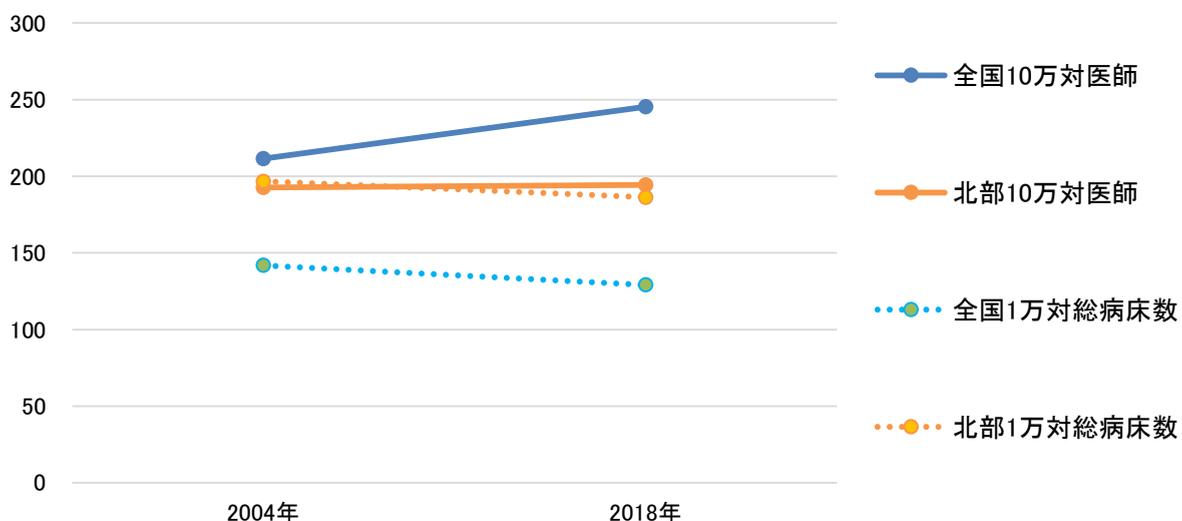
2004年の病院数が24(人口10万人当たり14.1病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2018年に24(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.6)偏差値71)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が142(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2018年に128(人口10万人当たり78診療所(全国平均80)偏差値49)と、14診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,350床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に3,037床(人口1万人当たり186(全国平均129)偏差値61)と、313床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

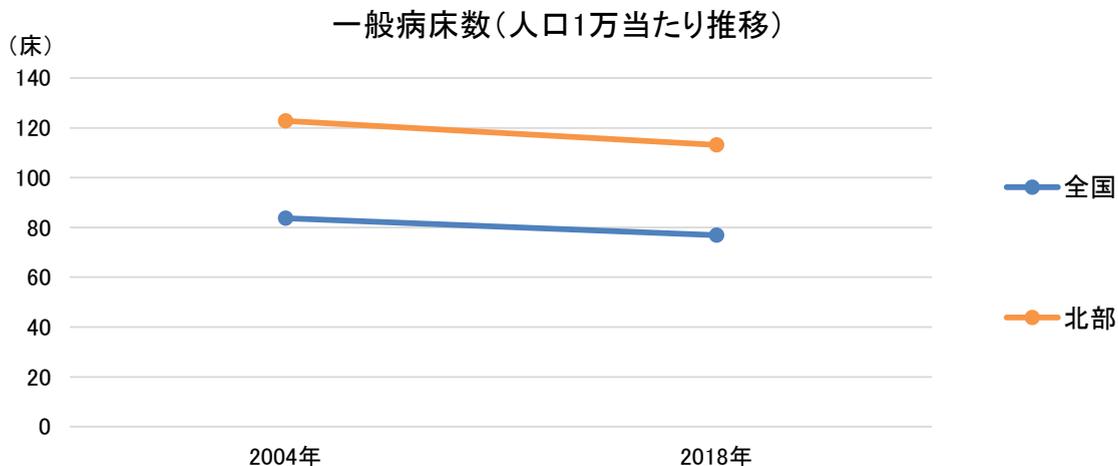
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が328人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2018年に317人(人口10万人当たり194人(全国平均245人)偏差値44)と、11人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



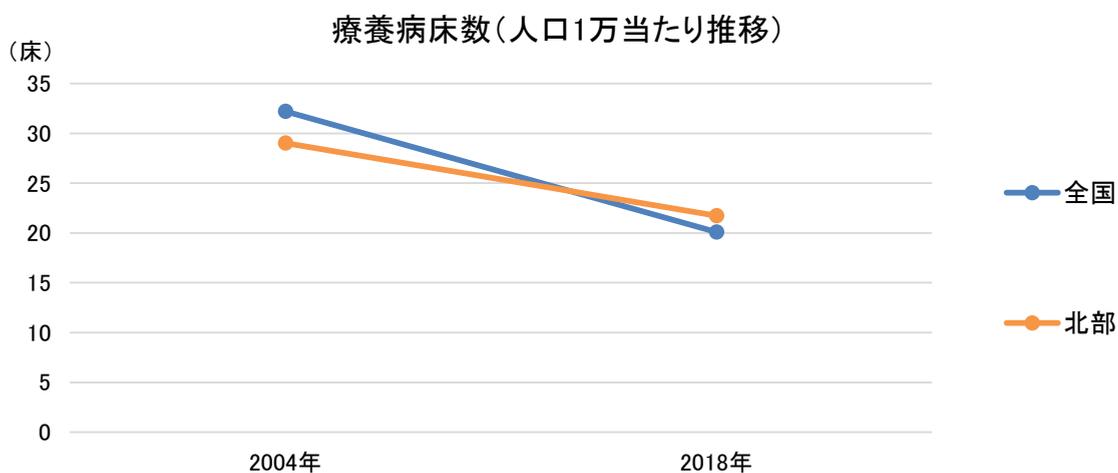
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,090床(人口1万人当たり123(全国平均84)偏差値64)であったが、2018年に1,846床(人口1万人当たり113(全国平均77)偏差値64)と、244床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



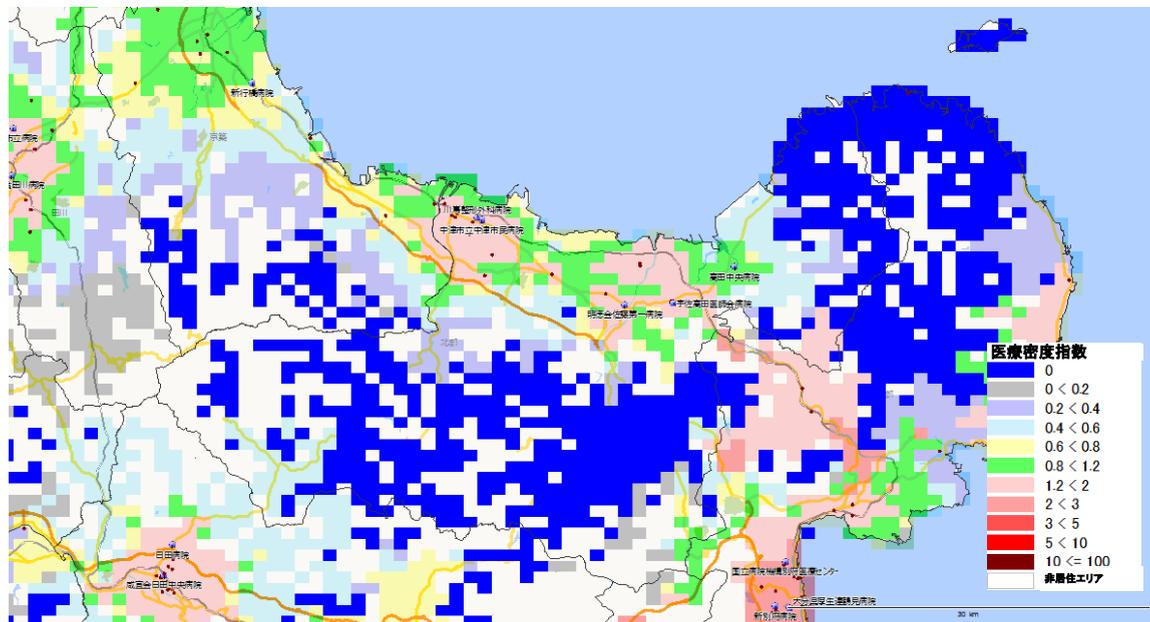
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が681床(75歳以上1,000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2018年に599床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、82床の減少、率にして12%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



## (北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表44-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表44-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )

